

平成 31 年度
京都外国語大学

学 則

第 1 章 総則

(目 的)

第 1 条 京都外国語大学(以下「本学」という。)は、教育基本法(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)及び学校教育法(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号)の規定するところに従い、学術の中心として広く知識を授け、豊かな教養に基づく円満な人格と国際的視野とを養い、専門の外国語とその文化について深く教授研究し、国際的活動を通して社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

(点検及び評価)

- 第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条に規定する目的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 本学は、教育研究活動等の状況について、一定期間ごとに認証評価(文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価)を受けるものとする。
- 3 第 1 項に規定する点検及び評価を行うための体制並びに前項に規定する認証評価を受けるための体制、その他に関する必要な事項は、別に定める。

第 2 章 教育研究上の組織

(組 織)

第 3 条 本学に、次の学部、学科を置く。

外国語学部 英米語学科・スペイン語学科・フランス語学科・ドイツ語学科・
ブラジルポルトガル語学科・中国語学科・日本語学科・イタリア語学科
国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科・グローバル観光学科

2 本学に、留学生別科を置く。

留学生別科に関する必要な事項は、別に定める。

3 本学に、大学院を置く。

大学院に関する必要な事項は、京都外国語大学大学院学則に定める。

(学部及び各学科の目的)

第 3 条の 2 本学の学部及び各学科の目的は、次のとおりとする。

外国語学部	専攻する外国語の学修を通して、高度な語学力、地域・文化についての専門的知識及び国際社会で活躍するにふさわしい高い見識並びに豊かな教養を身につけ、世界の平和に貢献する人材を育成することを目的とする。
英米語学科	専攻語として英語の確かな運用力を備え、英語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
スペイン語学科	専攻語としてスペイン語の確かな運用力を備え、スペイン語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
フランス語学科	専攻語としてフランス語の確かな運用力を備え、フランス語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。

ドイツ語学科	専攻語としてドイツ語の確かな運用力を備え、ドイツ語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
ブラジルポルトガル語学科	専攻語としてポルトガル語の確かな運用力を備え、ポルトガル語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
中国語学科	専攻語として中国語の確かな運用力を備え、中国語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
日本語学科	専攻語として日本語の確かな運用力及び日本国内外で日本語を教授する能力を備え、日本語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
イタリア語学科	専攻語としてイタリア語の確かな運用力を備え、イタリア語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的とする。
国際貢献学部	世界で起きている事象を国民国家の枠組みを超えたグローバルな視点から捉え、「学問知」と「経験知」を総合した能力を修得して社会や組織の課題を解決し、人類共通の利益に資する諸変化をもたらすことによってグローバル社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
グローバルスタディーズ学科	地球規模・人類共通の課題解決に貢献し、新たな価値を創造する人材を育成することを目的とする。
グローバル観光学科	観光に関するグローバルかつ総合的な観点から、様々な地域の課題解決に貢献する人材を育成することを目的とする。

第3章 入学定員、編入学定員及び収容定員

(入学定員、編入学定員及び収容定員)

第4条 本学外国語学部及び国際貢献学部の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次表のとおりとする。

学部名	学 科 名	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
外国語学部	英 米 語 学 科	350人	60人	1,520人
	ス ペ イ ン 語 学 科	60人	0人	240人
	フ ラ ン ス 語 学 科	50人	0人	200人
	ド イ ツ 語 学 科	50人	0人	200人
	ブラジルポルトガル語学科	50人	0人	200人
	中 国 語 学 科	60人	5人	250人
	日 本 語 学 科	50人	5人	210人
	イ タ リ ア 語 学 科	50人	0人	200人
国際貢献学部	グローバル スタディーズ学科	100人	10人	420人
	グローバル観光学科	120人	20人	520人
計		940人	100人	3,960人

第4章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第5条 本学外国語学部及び国際貢献学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第6条 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、編入学・再入学を許可された者は、次の年限を超えて在学することができない。

(1) 2年次編入学を許可された者は、6年

3年次編入学を許可された者は、4年

(2) 再入学を許可された者は、過去の在学年数を通算して8年

2 前項の在学年限には、休学期間を算入しない。

第5章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第8条 学年を、春学期及び秋学期の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月19日まで

秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 本学創立記念日 5月18日

(4) 春期休業

(5) 夏期休業

(6) 冬期休業

2 前項に規定する第4号から第6号までの休業期間は、学年暦による。

3 特に必要があると認めるときは、臨時に休業日を変更することがある。

第6章 教育課程

(教育課程の編成方針)

第10条 本学は、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

(教育課程の編成方法)

第10条の2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成し、別表1のとおりとする。

2 前項別表1に掲げるもののほか、臨時に授業科目を開設することがある。

(単位の計算方法)

第11条 授業科目の単位数の計算は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、次の基準により行う。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めるものとする。

(授業期間)

第 12 条 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第 12 条の 2 各授業科目の授業は、学期ごとに 15 週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果があげられることができると認められる場合は、この限りではない。

(授業の方法)

第 13 条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様な教育情報機器を高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。

(履修登録)

第 13 条の 2 学生は、開講前に履修すべき授業科目を登録しなければならない。

2 学生は、前項の規定により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、又は単位を修得することはできない。

3 履修に関する必要な事項は、別に定める。

(成績評価基準等の明示等)

第 14 条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

(単位の授与)

第 15 条 各授業科目を一定期間以上履修し、試験等に合格した者には、所定の単位を与える。

2 試験及び卒業論文の審査に関する必要な事項は、別に定める。

(学修の評価)

第 16 条 学修の評価は、100 点満点で 60 点以上を合格とし、その評価の区分は、次のとおりとする。

A ⁺	90 点～100 点	A	80 点～89 点	B	70 点～79 点
C	60 点～69 点	D	0 点～59 点	F	失格

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 17 条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

3 前2項に関する必要な事項は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第18条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

3 前2項に関する必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第19条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第17条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

4 前3項に関する必要な事項は、別に定める。

(編入学の既修得単位の認定)

第19条の2 第31条第1項の規定により編入学を許可された者の既修得単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)の認定については、別に定める。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第20条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 前項の規定に基づき実施するために、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)委員会を置く。

3 FD委員会に関する必要な事項は、別に定める。

第7章 資格課程等

(教職課程)

第21条 教育職員免許状の所要資格を得ようとする者は、第26条の規定によるほか、別表2の教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び同法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

- 2 当該所要資格を取得できる課程認定を受けた免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学部	学 科	認定を受けた免許状の種類・免許教科	
		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
外国語学部	英 米 語 学 科	外国語(英 語)	外国語(英 語)
	ス ペ イ ン 語 学 科	外国語(スペイン語)	外国語(スペイン語)
	フ ラ ン ス 語 学 科	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)
	ド イ ツ 語 学 科	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)
	ブラジルポルトガル語学科	外国語(ポルトガル語)	外国語(ポルトガル語)
	中 国 語 学 科	外国語(中 国 語)	外国語(中 国 語)
	日 本 語 学 科	国 語	国 語
	イ タ リ ア 語 学 科	外国語(イタリア語)	外国語(イタリア語)

(図書館司書課程)

第 22 条 図書館司書の所要資格を得ようとする者は、第 26 条の規定によるほか、別表 3 の図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)及び同法施行規則(昭和 25 年文部省令第 27 号)に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(学校図書館司書教諭課程)

第 23 条 学校図書館司書教諭の所要資格を得ようとする者は、第 26 条の規定によるほか、第 21 条に規定する別表 2 の教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)及び同法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)並びに前条に規定する別表 3 の学校図書館司書教諭講習規程(昭和 29 年文部省令第 21 号)に定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(博物館学芸員課程)

第 24 条 博物館学芸員の所要資格を得ようとする者は、第 26 条の規定によるほか、博物館法(昭和 26 年法律 285 号)及び同法施行規則(昭和 30 年文部省令第 24 号)に定める別表 4 の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(日本語教員養成プログラム及び次世代リーダー育成プログラム)

第 25 条 日本語教員を目指す者は、第 26 条の規定によるほか、別表 5 の文化庁が定める日本語教員養成において必要とされる教育内容を基に本学が定める科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。所定の単位を修得した者には、日本語教員養成に係る単位修得証明書を与える。

- 2 次世代リーダー育成プログラムは、参加基準に達した者から選抜するものとし参加する者は別表 6 に定める科目を履修し、年次ごとに定める基準を満たし所定の単位を修得しなければならない。所定の単位を修得した者には、次世代リーダー育成プログラムに係る修了証を与える。

第 8 章 卒業の要件、卒業の認定及び学位の授与

(卒業の要件)

第 26 条 本学を卒業するためには、第 5 条に規定する修業年限以上在学し、別表 1 に定められた授業科目の区分毎に所定の単位を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

(卒業の認定)

第 27 条 前条に規定する卒業の要件を満たした者に対して、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 卒業の時期については、3 月又は 9 月とする。

(学位の授与)

第 28 条 学長は、前条第 1 項の規定により卒業を認定した者には、学位記を授与する。

2 本学の授与する学位は、次のとおりとする。

外国語学部 学士(文学)

国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科 学士(国際学)

グローバル観光学科 学士(グローバル観光学)

3 学位に関する必要な事項は、別に定める。

第 9 章 学籍の取得、喪失及び異動等

(入学の時期)

第 29 条 入学の時期は、学期始めとする。

(入学資格)

第 30 条 入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、所定の入学試験に合格した者でなければならない。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

(通常以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

2 入学試験に関する必要な事項は、別に定める。

(編入学資格)

第 31 条 3 年次又は 2 年次に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当し、所定の入学試験に合格した者でなければならない。

(1) 短期大学又は大学を卒業した者

(2) 高等専門学校を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

(4) 大学に 1 年以上在学し、別に定める単位を修得した者

(5) 外国の短期大学又は大学を卒業した者

(6) 外国の大学に 1 年以上在学し、別に定める単位を修得した者

(7) 学校教育法施行規則附則第 7 条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者

(8) その他、本学において前各号に掲げる者と同等以上の資格があると認められた者

2 編入学試験に関する必要な事項は、別に定める。

(入学志願の手続き)

第 32 条 入学志願者は、別に指定する期間内に、入学願書及び別に定める書類を提出するとともに、所定の入学検定料を納入しなければならない。

2 既納の入学検定料は、返付しない。

(入学検定料の特別措置)

第 32 条の 2 自然災害等被害を被った地域が災害救助法に適用されたときは、入学検定料を返付することがある。

2 前項の規定に関する必要な事項は、別に定める。

(入学手続き及び入学許可)

第 33 条 入学試験に合格した者は、別に指定する期間内に、誓約書、保証書及び別に定める書類を提出するとともに、所定の学費を納入しなければならない。

2 学長は、前項の規定により入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 34 条 保証人は、父又は母とする。ただし、父母なき者については、これに代わる親族、その他で独立の生計を営み、その責務を果せる者とする。

2 保証人は、その学生の在学中に係る一切の事項につき、連帯の責任を負わなければならない。

(保証人の異動等)

第 35 条 本人及び保証人に転居又は改姓名等異動があった場合は、その旨を直ちに届け出なければならない。保証人が死亡したとき、又はその他の事由でその責を果たし得なくなったときは、新たに保証人を定めて、誓約書・保証書を提出しなければならない。

(休学)

第 36 条 疾病、その他やむを得ない事由により長期にわたり授業に出席できない者は、医師の診断書又は詳細に事由を具した保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 学長は、疾病のため修学することが適当でないと認められる者には、休学を命ずることがある。

3 休学を許可された者は、その期間授業及び試験を受けることができない。

(休学期間)

第 37 条 休学期間は、学期を単位とし、通算して 8 学期を超えることができない。

2 休学願は、次表に定める期限までに提出しなければならない。

	休学願提出期限
春学期休学する場合	5月20日
秋学期休学する場合	11月20日

(復学)

第 38 条 休学者が復学を希望する場合は、保証人連署の復学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。ただし、疾病回復による復学は、通学が可能という医師の診断書を添付しなければならない。

2 復学の時期は、学期始めとし、休学期間内の途中での復学は、原則として認められない。

3 復学の手続きは、休学期間内の定められた期日までに願出しなければならない。

(退学)

第 39 条 疾病、その他やむを得ない事由により退学しようとするときは、その理由を具した保証人連署の退学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(再入学)

第40条 退学者又は第42条第3号及び第4号の規定による除籍者が保証人連署の再入学願を提出するときは、相当年次に入学を許可することがある。

2 学長が必要と認める場合には、試験を課すことがある。

3 再入学願は、退学又は除籍年次を含めて5年以内に提出しなければならない。

(転学)

第41条 在学中、他の大学又は短期大学に入学若しくは転学を希望する者は、学長へ願い出て許可を受けなければならない。

(転部・転科)

第41条の2 本学の所属学部から他学部への転部又は所属学部の学科間の転科を願い出たときは、選考のうえ、これを許可することができる。

2 前項の規定に関する必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第42条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍とする。

(1) 第6条の規定による在学年限を超えた者

(2) 死亡又は長期にわたり行方不明の者

(3) 休学期間終了日までに復学、休学又は退学の手続きをとらない者

(4) 学費納入の義務を怠り、督促及び除籍勧告を受けても誠意なく納入しない者

(5) 単位修得不足及び成績不振により成業の見込みがないと認められる者

2 前項第5号に関する必要な事項は、別に定める。

第43条 削除

(留学)

第44条 外国の大学又は短期大学への留学を希望する者は、学長の許可を得なければならない。

2 前項の規定により留学する場合、当該留学期間の学費及び代理徴収金を納入しなければならない。納入方法に関する必要な事項は、別に定める。

3 留学に関する必要な事項は、別に定める。

第45条 削除

第10章 学費及びその他納付金

(学費及びその他納付金)

第46条 学費は、入学金、授業料、教育充実費及び学園振興協力費とし、その額は別表7のとおりとする。

2 その他納付金は、諸費用、履修料等及び手数料とし、その額は別表7のとおりとする。

3 第33条及び第40条に規定する者を除き、学費は、別に指定する各学期始めの期限までに当該学期分を納入しなければならない。ただし、春学期分・秋学期分の2期分の学費を一括して納入することもできる。

(資格課程履修費等)

第47条 資格課程履修費、実習費、選択種目履修費、海外セミナー参加費、語学研修費、教材用印刷費等については、別に指定する期間内に納入しなければならない。

(追試験及び再試験)

第48条 追試験及び再試験の受験料は、別に指定する期間内に納入しなければならない。

(科目等履修生等及び研究生)

第 49 条 科目等履修生等の選考料、登録料、履修料は、別に指定する期間内に納入しなければならない。

2 研究生の選考料、登録料、指導料は、別に指定する期間内に納入しなければならない。

(代理徴収金)

第 50 条 本学は、学生会、後援会、校友会等から会費等の徴収を委託された場合、これを代理徴収する。その額は別表 7 のとおりとし、学費と共に納入しなければならない。

(学費の延納)

第 51 条 経済的事情、家庭の事情、その他特別の事由がある場合は、学長の許可を得て学費を延納することができる。

(休学在籍料)

第 52 条 第 36 条の規定により休学する場合は、当該学期分の休学在籍料を納入しなければならない。

(退学者及び懲戒を受けた者)

第 52 条の 2 第 39 条の規定により退学を許可された者は、当該学期分の学費を納入しなければならない。

2 第 70 条の規定により謹慎、停学又は退学を命じられた者は、当該学期分の学費を納入しなければならない。

(既納の学費)

第 53 条 既納の学費及びその他納付金は、返付しない。

2 前項の規定にかかわらず、学費納入後に第 36 条の規定により休学する場合、第 52 条の規定により休学中に納入すべき額と既納の学費(入学金を除く)の差額を返付する。

3 第 1 項の規定にかかわらず、他大学と併願可能な入学試験において第 33 条第 1 項の規定により入学手続きを完了した者が、別に指定する期間内に所定の手続きを経て入学を辞退した場合、学費(入学金を除く)を返付する。

(入学金の免除)

第 53 条の 2 本学に、入学金免除を行う制度を設ける。

2 前項の規定に関する必要な事項は、別に定める。

(学費及びその他納付金の納入方法)

第 54 条 学費及びその他納付金の納入に関する必要な事項は、別に定める。

(私費外国人留学生の授業料減免)

第 55 条 私費外国人留学生の授業料減免に関する必要な事項は、別に定める。

(家計困窮者に対する学費免除)

第 55 条の 2 家計困窮者に対し、学費免除に関する必要な事項は、別に定める。

第 11 章 職員組織

(学長、副学長、学部長及び学科長)

第 56 条 本学に、学長を置く。

2 本学に、副学長、学部長及び学科長を置くことがある。

3 学長、副学長、学部長及び学科長の選任に関する必要な事項は、別に定める。

(職員の構成)

第 57 条 本学に、一定数の教授、准教授、助教、助手及び事務職員を置く。

2 前項のほか、講師、技術職員その他必要な職員を置くことがある。

- 3 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 4 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 5 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- 6 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 7 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 8 第3項から第7項に規定する教授、准教授、講師、助教及び助手の資格審査に関する必要な事項は、別に定める。

(研修の機会等)

第57条の2 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修その他必要な取り組みを行うものとする。

- 2 前項に定める取り組みを実施するために、スタッフ・ディベロップメント(以下「SD」という。)委員会を置く。
- 3 SD委員会に関する必要な事項は、別に定める。

第12章 教授会

(教授会)

第58条 本学に、教授会を置く。

(教授会の構成)

第59条 教授会は、学長及び専任の教授・准教授・講師をもって構成する。

- 2 教授会には、前項に掲げる者のほか、職員を加えることができる。

(教授会の審議事項)

第60条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程に関する事項
- (4) 教員の教育研究業績の審査に関する事項

- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、次に掲げる事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

- (1) 再入学に関する事項
- (2) 学生の賞罰に関する事項
- (3) 学則及び諸規則に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育研究に関する事項

- 3 教授会に関するその他の必要な事項は、別に定める。

- 4 第1項第4号に規定する教員の教育研究業績の審査に関する必要な事項は、別に定める。

(委員会等)

第60条の2 本学に学長直轄又は諮問機関として委員会又は会議(以下「委員会等」という。)を置く。

- 2 委員会等に関する必要な事項は、別に定める。

第13章 付属図書館及び研究機関

(付属図書館及び研究機関)

第61条 本学に付属図書館、国際言語平和研究所及び京都外国語大学ラテンアメリカ研究所を置く。

2 付属図書館及び各研究機関に関する必要な事項は、別に定める。

第14章 科目等履修生等、特別聴講学生、外国人留学生及び研究生

(科目等履修生等)

第62条 本学の学生以外の者で、本学において、1又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、在学生の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生等として入学を許可することがある。

2 科目等履修生等に関する必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第63条 本学が交流協定を締結する大学又は短期大学の学生で、本学の特定の授業科目の履修を志望する者があるときは、当該大学又は短期大学との協議により、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第64条 大学において教育を受ける目的をもって入国した外国人で、本学に入学を志望する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関する必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第65条 本学において特定の専門事項を研究しようとする者があるときは、学生の教育に支障のない範囲で、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関する必要な事項は、別に定める。

第66条 削除

第15章 公開講座

(公開講座)

第67条 外国語教育の普及を図り、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開講することがある。

2 公開講座に関する必要な事項は、別に定める。

第16章 厚生保健施設

(厚生保健施設)

第68条 保健室を設けて、教職員、学生等の健康相談及び保健医療に努める。

第17章 賞 罰

(表 彰)

第69条 品行方正、学業成績優秀、課外活動等で他の学生の模範となる者は、表彰することがある。

2 表彰に関する必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第70条 本学の学則及び諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

(懲戒の種類)

第71条 懲戒の種類は、譴責、謹慎、停学及び退学とする。

2 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (4) 学内の秩序をみだし、その他学生としての本分に反した者

第18章 奨学制度

(奨学金)

第72条 本学に、給費及び貸費の奨学制度を置く。

2 奨学制度に関する必要な事項は、別に定める。

第19章 改廃

(改廃)

第73条 この学則の改廃は、教授会の議を経て、学長がこれを行う。ただし、第3条、第4条、第32条の2、第46条、第52条から第57条、第61条及び第72条に関する制度又は規定の改廃については、理事会の議を経なければならない。

附則

第66条 本学則は、昭和34年4月1日より之を適用する。

附則

第66条 本学則は、昭和35年4月1日より之を適用する。

附則

第66条 本学則は、昭和35年9月1日より之を適用する。

附則

第66条 本学則は、昭和38年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和39年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和41年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和41年10月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和42年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和43年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和44年4月1日より之を適用する。

附則

本学則は、昭和46年4月1日より之を適用する。

附 則

本学則は、昭和 47 年 4 月 1 日より之を適用する。

附 則

本学則は、昭和 48 年 4 月 1 日より之を適用する。

附 則

本学則は、昭和 49 年 4 月 1 日より之を適用する。

附 則

本学則は、昭和 50 年 4 月 1 日より之を適用する。

附 則

本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 57 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 58 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 59 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 60 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 61 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 62 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

本学則は、昭和 63 年 4 月 1 日より施行する。

ただし、第 4 条の規定にかかわらず、昭和 63 年度から昭和 71 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科 名	入学定員	総定員
英 米 語 学 科	360 名	1,440 名
イ ス パ ニ ア 語 学 科	70 名	280 名
フ ラ ン ス 語 学 科	50 名	200 名
ド イ ツ 語 学 科	50 名	200 名
ブ ラ ジ ル ポ ル ト ガ ル 語 学 科	50 名	200 名
中 国 語 学 科	70 名	280 名
計	650 名	2,600 名

附 則

本学則は平成元年4月1日より施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成2年4月1日より施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、昭和63年度から平成8年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 科 名	入学定員	総定員
英 米 語 学 科	360名	1,440名
イ ス パ ニ ア 語 学 科	70名	280名
フ ラ ン ス 語 学 科	50名	200名
ド イ ツ 語 学 科	50名	200名
ブ ラ ジ ル ポ ル ト ガ ル 語 学 科	50名	200名
中 国 語 学 科	70名	280名
計	650名	2,600名

- 3 第17条第2項および第58条第2項については、平成元年4月1日より施行する。

附 則

本学則は、平成3年4月1日より施行する。

附 則

本学則は、平成3年10月1日より施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成4年4月1日より施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入学定員	
	平成4年度 ～ 平成8年度	平成9年度 ～ 平成11年度
英 米 語 学 科	350名	290名
イ ス パ ニ ア 語 学 科	70名	50名
フ ラ ン ス 語 学 科	50名	50名
ド イ ツ 語 学 科	50名	50名
ブ ラ ジ ル ポ ル ト ガ ル 語 学 科	50名	50名
中 国 語 学 科	70名	50名
日 本 語 学 科	50名	50名
計	690名	590名

- 3 第19条については、平成4年3月19日から施行する。

附 則

この学則は平成5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 平成5年度以前の入学生、平成6年度以前の編入学生および平成7年度の3回生編入学生については、第3章および第4章は適用されない。当該事項については、なお、従前の例による。その他学則の適用に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 英米語学科・イスパニア語学科・フランス語学科・ドイツ語学科・ブラジルポルトガル語学科・中国語学科の平成5年度以前の入学生、平成6年度以前の編入学生および平成7年度の3回生編入学生については、第3章および第4章は適用されない。当該事項については、なお、従前の例による。その他学則の適用に関し、必要な事項は別に定める。
- 3 日本語学科の平成7年度以前の入学生、平成8年度以前の編入学生および平成9年度の3回生編入学生については、第3章および第4章は適用されない。当該事項については、なお、従前の例による。その他学則の適用に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入学定員
	平成9年度～平成11年度
英 米 語 学 科	350名
イ ス パ ニ ア 語 学 科	70名
フ ラ ン ス 語 学 科	50名
ド イ ツ 語 学 科	50名
ブラジルポルトガル語学科	50名
中 国 語 学 科	70名
日 本 語 学 科	50名
計	690名

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 教職課程の商業の授業科目および履修方法については、この学則による改正後の学則第17条別表2にかかわらず、平成10年度以前の入学生、平成11年度以前の編入学生および平成12年度の3回生編入学生については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学 科 名	入 学 定 員					
	平成9年度～平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
英 米 語 学 科	350名	414名	408名	402名	396名	390名
イ ス パ ニ ア 語 学 科	70名	82名	80名	78名	76名	74名
フ ラ ン ス 語 学 科	50名	60名	60名	60名	60名	60名
ド イ ツ 語 学 科	50名	60名	60名	60名	60名	60名
ブラジルポルトガル語学科	50名	60名	60名	60名	60名	60名
中 国 語 学 科	70名	82名	80名	78名	76名	74名
日 本 語 学 科	50名	73名	71名	69名	67名	65名
計	690名	831名	819名	807名	795名	783名

3 英米語学科・イスパニア語学科・フランス語学科・ドイツ語学科・ブラジルポルトガル語学科・中国語学科の平成5年度以前の入学生については、第3章および第4章は適用されない。当該事項については、なお、従前の例による。その他学則の適用に関し、必要な事項は別に定める。

4 教職課程の授業科目および履修方法については、この学則による改正後の学則第17条別表2にかかわらず、平成11年度以前の入学生、平成12年度以前の編入学生および平成13年度の3回生編入学生については、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

2 教職課程の授業科目および履修方法については、この学則による改正後の学則第21条別表2にかかわらず、平成11年度以前の入学生、平成12年度以前の編入学生および平成13年度の3年次編入学生については、なお、従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

2 第4条の入学定員、編入学定員及び収容定員の取り扱いは、次のとおりとする。

(1) 国際教養学科の入学定員は、英米語学科の「390」から「35」を、スペイン語学科の「74」から「10」を、中国語学科の「74」から「10」を、日本語学科の「65」から「5」を減じ、その減数の合計「60」として、平成22年度から適用する。

(2) 国際教養学科の編入学定員は、英米語学科の「74」から減じた数「4」とし、平成24年度から適用する。

(3) 英米語学科、スペイン語学科、中国語学科、日本語学科、国際教養学科それぞれの収容定員は、平成25年度から適用する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 第22条に定める別表3第1項の図書館司書課程の科目は、平成24年度以降の入学者から適用し、平成23年度以前に入学した学生は、なお従前の例による。

- 3 第23条に定める別表3第2項の学校図書館司書教諭課程の科目は、平成24年度以降の入学から適用し、平成23年度以前に入学した学生は、なお従前の例による。
- 4 第24条に定める別表4の博物館学芸員課程の科目は、平成24年度以降の入学から適用し、平成23年度以前に入学した学生は、なお従前の例による。
- 5 従前の別表4に定める博物館学芸員課程の選択科目のうち、「EUと現代イタリア社会」及び「EUと現代イタリア文化」については、それぞれ「イタリア社会の基礎知識」及び「イタリア文化の基礎知識」に授業科目を変更する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第25条第2項に定める別表6の次世代リーダー育成プログラムの科目は、平成26年度の入学から適用する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定に拘わらず、平成29年度から平成33年度までの間、外国語学部の各学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は、下表のとおりとする。

学部名	学 科 名	平成29年度			平成30年度			平成31年度			平成32年度			平成33年度		
		入 学 定 員	編 入 学 定 員 (3 年 次)	収 容 定 員	入 学 定 員	編 入 学 定 員 (3 年 次)	収 容 定 員	入 学 定 員	編 入 学 定 員 (3 年 次)	収 容 定 員	入 学 定 員	編 入 学 定 員 (3 年 次)	収 容 定 員	入 学 定 員	編 入 学 定 員 (3 年 次)	収 容 定 員
外国語学部	英米語学科	人 355	人 70	人 1,560	人 350	人 70	人 1,555	人 350	人 70	人 1,550	人 350	人 60	人 1,535	人 350	人 60	人 1,520
	スペイン語学科	64	3	262	60	3	258	60	3	254	60	0	247	60	0	240
	フランス語学科	60	3	246	50	3	236	50	3	226	50	0	213	50	0	200
	ドイツ語学科	60	3	246	50	3	236	50	3	226	50	0	213	50	0	200
	ブラジルポルトガル語 学科	60	3	246	50	3	236	50	3	226	50	0	213	50	0	200
	中国語学科	64	12	280	60	12	276	60	12	272	60	5	261	60	5	250
	日本語学科	60	8	256	50	8	246	50	8	236	50	5	223	50	5	210
	イタリア語学科	60	3	246	50	3	236	50	3	226	50	0	213	50	0	200
国際教養学科	60	4	248	0	4	188	0	4	128	0	0	64	0	0	0	
国際貢献学部	グローバル スタディーズ学科				100	0	100	100	0	200	100	10	310	100	10	420
	グローバル観光学科				120	0	120	120	0	240	120	20	380	120	20	520
計		843	109	3,590	940	109	3,687	940	109	3,784	940	100	3,872	940	100	3,960

- 3 第4条に規定する編入学定員は平成32年度から、収容定員は平成33年度から改める。
- 4 国際教養学科の学生については、従前の学則を適用する。
- 5 国際教養学科は、平成30年度から学生募集を停止し、在籍者の卒業を以って廃止する。
ただし、編入学については、平成32年度から学生募集を停止する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(昭和 35 年 9 月 1 日改正、昭和 38 年 4 月 1 日改正、昭和 39 年 3 月 14 日改正、昭和 41 年 4 月 1 日改正、昭和 41 年 10 月 1 日改正、昭和 42 年 4 月 1 日改正、昭和 43 年 4 月 1 日改正、昭和 44 年 4 月 1 日改正、昭和 46 年 4 月 1 日改正、昭和 47 年 4 月 1 日改正、昭和 48 年 4 月 1 日改正、昭和 49 年 4 月 1 日改正、昭和 50 年 4 月 1 日改正、昭和 51 年 4 月 1 日改正、昭和 52 年 4 月 1 日改正、昭和 53 年 4 月 1 日改正、昭和 54 年 4 月 1 日改正、昭和 55 年 4 月 1 日改正、昭和 56 年 4 月 1 日改正、昭和 57 年 4 月 1 日改正、昭和 58 年 4 月 1 日改正、昭和 59 年 4 月 1 日改正、昭和 60 年 4 月 1 日改正、昭和 61 年 4 月 1 日改正、昭和 62 年 4 月 1 日改正、昭和 63 年 4 月 1 日改正、平成元年 4 月 1 日改正、平成 2 年 4 月 1 日改正、平成 3 年 4 月 1 日改正、平成 3 年 10 月 1 日改正、平成 4 年 4 月 1 日改正、平成 5 年 4 月 1 日改正、平成 6 年 4 月 1 日改正、平成 7 年 4 月 1 日改正、平成 8 年 4 月 1 日改正、平成 9 年 4 月 1 日改正、平成 10 年 4 月 1 日改正、平成 11 年 4 月 1 日改正、平成 12 年 4 月 1 日改正、平成 13 年 4 月 1 日改正、平成 14 年 4 月 1 日改正、平成 15 年 4 月 1 日改正、平成 16 年 4 月 1 日改正、平成 17 年 4 月 1 日改正、平成 18 年 4 月 1 日改正、平成 18 年 11 月 30 日改正、平成 19 年 1 月 30 日改正、平成 20 年 3 月 22 日改正、平成 21 年 3 月 21 日改正、平成 22 年 2 月 24 日改正、平成 23 年 1 月 27 日改正、平成 24 年 4 月 1 日改正、平成 25 年 1 月 31 日改正、平成 25 年 7 月 11 日改正、平成 26 年 1 月 30 日改正、平成 27 年 2 月 25 日改正、平成 28 年 2 月 24 日改正、平成 29 年 1 月 24 日改正、平成 29 年 3 月 13 日改正、平成 30 年 2 月 13 日改正、平成 30 年 9 月 19 日改正、平成 30 年 11 月 5 日改正)

別表1 外国語学部の授業科目の区分、編成と単位数
1. 授業科目の区分と単位数

卒業するためには4年以上在学し、次表の授業科目区分に従って単位を修得し、合計124単位以上を修得しなければならない。表中の自由選択については別表1の2の⑩のほか、※印の授業科目区分において、それぞれの必要単位数を超えて修得した単位を算入する。

授業科目区分		英米語学科	スペイン語学科	フランス語学科	ドイツ語学科	ポルトガル語学科	中国語学科	日本語学科	イタリア語学科
導入	総合科目	4	4	4	4	4	4	4	4
	基礎ゼミナール	2	2	2	2	2	2	2	2
基幹	専攻語科目・専門科目	30	34	34	34	34	34	24	34
	第2外国語科目	8	8	8	8	8	8	8	8
	外国語強化科目※	20	16	16	16	16	16	12	16
	第3外国語科目※	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->	<->
	専門特別演習科目※	<->	<->	<->	<->	<->	<->	10	<->
展開	グローバル・ スタディ科目群※ <>の単位は内数	20 <8> 20 <6>	20 <8> 20 <6>	20 <8> 20 <6>	20 <8> 20 <6>	20 <8> 20 <6>	20 <8> 20 <6>	24 <12> 24 <6>	20 <8> 20 <6>
	キャリア・スタディ科目群※ (コース・ナンバリング制)	16	16	16	16	16	16	16	16
卒業選択		2	2	2	2	2	2	2	2
自由選択		22	22	22	22	22	22	22	22
計		124	124	124	124	124	124	124	124

2. 授業科目の編成と単位数

① 英米語学科の専攻語科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位数は次表のとおりとする。

専攻語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
English Seminar I	1	1	
Academic English Skills I	1	2	
English Workshop I	1	2	
Academic Writing I	1	1	
Communicative Grammar I	1	1	
TOEIC Workshop I	1	1	
English Seminar II	1	1	
Academic English Skills II	1	2	
English Workshop II	1	2	
Academic Writing II	1	1	
Communicative Grammar II	1	1	
TOEIC Workshop II	1	1	
English Seminar III	2	1	
Academic English Skills III	2	1	
English Workshop III	2	1	
Academic Writing III	2	1	
English Seminar IV	2	1	
Academic English Skills IV	2	1	
English Workshop IV	2	1	
Academic Writing IV	2	1	
Academic English Skills V	3	1	
English Workshop V	3	1	
Academic Writing V	3	1	
Academic English Skills VI	3	1	
English Workshop VI	3	1	
Academic Writing VI	3	1	

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
TOEIC Listening I	1		1
TOEIC Listening II	1		1
TOEIC Reading I	1		1
TOEIC Reading II	1		1
TOEIC Reading III	2		1
TOEIC Reading IV	2		1
TOEIC Workshop III	2		1
TOEIC Workshop IV	2		1
Pronunciation Clinic	1		1
Intermediate TOEIC Workshop	1		2
Intermediate IELTS Workshop	1		2
Intermediate TOEFL Workshop	1		2
Media English I	2		2
Media English II	2		2
Discussion Skills I	2		2
Discussion Skills II	2		2
Public Speaking I	2		2
Public Speaking II	2		2
Public Speaking III	2		2
Public Speaking IV	2		2
Debate I	2		2

Debate II		2		2
Debate III		2		2
Debate IV		2		2
English at the Office I		2		2
English at the Office II		2		2
English for Airlines I		2		2
English for Airlines II		2		2
English for Hotels I		2		2
English for Hotels II		2		2
Screen English I		2		2
Screen English II		2		2
Intercultural Communication in Practice I		2		2
Intercultural Communication in Practice II		2		2
Advanced TOEIC Workshop I		1		2
Advanced TOEIC Workshop II		2		2
Advanced IELTS Workshop I		1		2
Advanced IELTS Workshop II		2		2
Advanced TOEFL Workshop I		1		2
Advanced TOEFL Workshop II		2		2
Integrated Skills Workshop		2		2
E-Learning(Tutorial Studies)		1		1
Topic Study A-1(京都研究)		2		2
Topic Study A-2(京都研究)		2		2
Topic Study A-3(京都研究)		2		2
Topic Study A-4(京都研究)		2		2
英語資格検定試験		3		3
編入学時認定科目(英語)		2		1~8
国内・海外留学認定科目(英語)				1~20

【英語訳・翻訳インテンシブ】

English for Interpreters & Guides I		2		2
English for Interpreters & Guides II		2		2
English for Interpreters & Guides III		2		2
English for Interpreters & Guides IV		2		2
English-Japanese Translation I		2		2
English-Japanese Translation II		2		2
Japanese-English Translation I		2		2
Japanese-English Translation II		2		2
Simultaneous Interpretation I		2		2
Simultaneous Interpretation II		2		2
【TOEIC集中対策】				
TOEIC Intensive I		1		2
TOEIC Intensive II		1		2
TOEIC Intensive III		2		2
TOEIC Intensive IV		2		2
【英語教員養成インテンシブ】				
Teaching Listening/Speaking and Pronunciation I		2		2
Teaching Listening/Speaking and Pronunciation II		2		2
Teaching Grammar I		2		2
Teaching Grammar II		2		2
How Languages are Learned in TEFL I		2		2
How Languages are Learned in TEFL II		2		2
Foreign Language Activities in Elementary School		2		2
Teaching English for Young Language Learners		2		2

Learning and Teaching English I		2		2
Learning and Teaching English II		3		2
Second Language Acquisition in TEFL		3		2
Teaching and Testing		3		2
TEFL Special Studies		3		2
English Teaching Workshop I (for Jr. high schools)		3		2
English Teaching Workshop II (for Sr. high schools)		3		2

グローバル・スタディ科目目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
英語学概論	2		*2
英米の文学と芸術入門 I	2		*2
英米の文学と芸術入門 II	2		*2
英米社会研究入門 I	2		*2
英米社会研究入門 II	2		*2
英米地域研究入門 I	2		*2
英米地域研究入門 II	2		*2
英語語法文法 I	2		2
英語語法文法 II	2		2
英語意味論	2		2
実践英語学	2		2
英語音声学	2		2
英語形態論	2		2
英語統語論 I	2		2
英語統語論 II	3		2
英語統語論 III	3		2
英語圏の言語と社会	2		2
英語語用論	3		2
英語学特殊研究	3		2
英語音韻論	3		2
英語圏文学と芸術の研究 I	3		2
英語圏文学と芸術の研究 II	3		2
比較文化特殊研究	3		2
英語圏社会研究 I	3		2
英語圏社会研究 II	3		2
英語圏地域研究 I	3		2
英語圏地域研究 II	3		2
英語圏の言語と文化	3		2
言語研究ゼミ I	3		2
言語研究ゼミ II	3		2
言語研究ゼミ III	4		2
言語研究ゼミ IV	4		2
比較文化研究ゼミ I	3		2
比較文化研究ゼミ II	3		2
比較文化研究ゼミ III	4		2
比較文化研究ゼミ IV	4		2
英語教育研究ゼミ I	3		2
英語教育研究ゼミ II	3		2
英語教育研究ゼミ III	4		2
英語教育研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目(英語圏)	2		*1~4
国内・海外留学認定科目(英語圏)	2		*1~8

*印の14単位のうち8単位以上を修得。

③フランス語学専攻の専攻科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位数は次表のとおりとする。

専攻科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
◆ フランス語基礎演習 I	1	2	
◆ 視聴覚フランス語 I-1	1	1	
◆ 視聴覚フランス語 I-2	1	1	
◆ フランス語会話 I-1	1	1	
◆ フランス語会話 I-2	1	1	
◆ 音読フランス語 I	1	1	
◆ フランス語基礎演習 II	1	2	
◆ 視聴覚フランス語 II-1	1	1	
◆ 視聴覚フランス語 II-2	1	1	
◆ フランス語会話 II-1	1	1	
◆ フランス語会話 II-2	1	1	
◆ 音読フランス語 II	1	1	
◆ フランス語総合演習 I-1	2	1	
◆ フランス語総合演習 I-2	2	1	
◆ 視聴覚フランス語 III-1	2	1	
◆ 視聴覚フランス語 III-2	2	1	
◆ フランス語会話 III-1	2	1	
◆ フランス語会話 III-2	2	1	
◆ フランス語総合演習 II-1	2	1	
◆ フランス語総合演習 II-2	2	1	
◆ 視聴覚フランス語 IV-1	2	1	
◆ 視聴覚フランス語 IV-2	2	1	
◆ フランス語会話 IV-1	2	1	
◆ フランス語会話 IV-2	2	1	
◆ COMPREHENSION ORALE I	3	1	
◆ EXPRESSION ORALE I	3	1	
◆ COMPREHENSION ECRITE I	3	1	
◆ EXPRESSION ORALE II	3	1	
◆ COMPREHENSION ECRITE II	3	1	
◆ COMPREHENSION ET EXPRESSION ORALES I	4	1	
◆ COMPREHENSION ET EXPRESSION ORALES II	4	1	

◆印は学科間開放科目を示す。

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
資格フランス語 I	1		1
資格フランス語 II	1		1
資格フランス語 III	2		1
資格フランス語 IV	1		2
資格フランス語 V	2		2
資格フランス語 VI	2		2
資格フランス語 VII	2		2
資格フランス語 VIII	2		2
資格フランス語 IX	2		2
フランス語基礎 I-1	1		1
フランス語基礎 I-2	1		1
フランス語基礎 II	2		1
PONT SONORE	2		2
応用フランス語 I	2		2
応用フランス語 II	3		2
上級フランス語会話 I	2		2
上級フランス語会話 II	3		2
フランス語作品研究 I	2		2
フランス語作品研究 II	3		2
時事フランス語 I	3		2
時事フランス語 II	3		2
ビジネスフランス語 I	3		2
ビジネスフランス語 II	3		2
上級者のためのフランス語演習 1	1		2
上級者のためのフランス語演習 2	1		2
上級者のためのフランス語演習 3	2		2
上級者のためのフランス語演習 4	2		2
上級者のためのフランス語演習 5	3		2
上級者のためのフランス語演習 6	3		2
上級者のためのフランス語演習 7	4		2
上級者のためのフランス語演習 8	4		2
翻訳通訳フランス語 I	3		2
翻訳通訳フランス語 II	3		2
トピック・スタディ F-1(京都研究)	2		2
トピック・スタディ F-2(京都研究)	2		2
トピック・スタディ F-3(京都研究)	2		2
トピック・スタディ F-4(京都研究)	2		2
フランス語資格検定試験	3		2
編入学時認定科目(フランス語)	2		1~8
国内・海外留学認定科目(フランス語)	2		1~20

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
フランスの基礎知識 I	1	2	
フランスの基礎知識 II	1	2	
フランス語学の基礎知識	2	2	
フランス語学の基礎知識	2	2	
フランス語史 I	2		2
フランス語史 II	2		2
フランス語学概論 I	2		2
フランス語学概論 II	2		2
フランス文学史 I	2		2
フランス文学史 II	2		2
フランス文学概論 I	2		2
フランス文学概論 II	2		2
フランス文化概論 I	2		2
フランス文化概論 II	2		2
フランス文化史 I	2		2
フランス文化史 II	2		2
フランス語学トピックスタディ	3		2
フランス語学演習 I	3		2
フランス語学演習 II	3		2
フランス語学トピックスタディ	3		2
フランス文学演習 I	3		2
フランス文学演習 II	3		2
フランス文化トピックスタディ	3		2
フランス文化演習 I-1	3		2
フランス文化演習 II-1	3		2
フランス文化演習 I-2	3		2
フランス文化演習 II-2	3		2
フランス文明論	3		2
フランス社会トピックスタディ	3		2
フランス語学ゼミ I	3		2
フランス語学ゼミ II	3		2
フランス語学ゼミ III	4		2
フランス語学ゼミ IV	4		2
フランス文学ゼミ I	3		2
フランス文学ゼミ II	3		2
フランス文学ゼミ III	4		2
フランス文学ゼミ IV	4		2
フランス文化ゼミ I	3		2
フランス文化ゼミ II	3		2
フランス文化ゼミ III	4		2
フランス文化ゼミ IV	4		2

④ドイツ語学科の専攻科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位は次表のとおりとする。

専攻科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
ドイツ語文法 I	1	2	
視聴覚ドイツ語 I	1	2	
ドイツ語会話 I-1	1	1	
ドイツ語会話 I-2	1	1	
ドイツ語作文・読解 I	1	1	
ドイツ語文法 II	1	2	
視聴覚ドイツ語 II	1	2	
ドイツ語会話 II-1	1	1	
ドイツ語会話 II-2	1	1	
ドイツ語作文・読解 II	1	1	
国際ドイツ語検定対策 I	1	1	
◆ 中級ドイツ語文法 I	2	1	
◆ 視聴覚ドイツ語 III	2	1	
◆ ドイツ語会話 III-1	2	1	
◆ ドイツ語会話 III-2	2	1	
◆ ドイツ語作文・読解 III	2	1	
◆ 国際ドイツ語検定対策 II	2	1	
◆ 視聴覚ドイツ語 IV	2	1	
◆ ドイツ語会話 IV-1	2	1	
◆ ドイツ語会話 IV-2	2	1	
◆ ドイツ語作文・読解 IV	2	1	
◆ ドイツ語会話 V-1	3	1	
◆ ドイツ語会話 V-2	3	1	
◆ ドイツ語作文・読解 V	3	1	
◆ ドイツ語会話 VI-1	3	1	
◆ ドイツ語会話 VI-2	3	1	
◆ ドイツ語作文・読解 VI	3	1	
◆ ドイツ語総合演習 I	4	1	
◆ ドイツ語総合演習 II	4	1	

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
ドイツ語基礎 I	1		1
ドイツ語基礎 II	2		1
ドイツ語基礎 III	2		1
資格ドイツ語初級	2		2
資格ドイツ語中級 I	2		2
資格ドイツ語中級 II	2		2
Landeskunde 1	2		2
Landeskunde 2	2		2
Landeskunde 3	2		2
Landeskunde 4	2		2
国際ドイツ語検定対策 3	2		2
国際ドイツ語検定対策 4	3		2
国際ドイツ語検定対策 5	3		2
国際ドイツ語検定対策 6	3		2
時事ドイツ語 1	3		2
時事ドイツ語 2	3		2
ドイツ語学演習 1	3		2
ドイツ語学演習 2	3		2
ビジネスドイツ語 1	3		2
ビジネスドイツ語 2	3		2
ドイツ語ディベート 1	3		2
ドイツ語ディベート 2	3		2
翻訳通訳ドイツ語 1	2		2
翻訳通訳ドイツ語 2	3		2
トピック・スタディ G-1(京都研究)	2		2
トピック・スタディ G-2(京都研究)	2		2
トピック・スタディ G-3(京都研究)	2		2
トピック・スタディ G-4(京都研究)	2		2
ドイツ語資格検定試験	3		2
編入学時認定科目(ドイツ語)	2		1~8
国内・海外留学認定科目(ドイツ語)	2		1~20

◆印は学科間開放科目を示す。

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択
ドイツ語圏の文化	1	2	
ドイツ語圏の社会	1	2	
ドイツ語学の基礎知識	2	2	
ドイツ文学の基礎知識	2	2	
ドイツ語学概論	2		2
ドイツ文学概論	2		2
ドイツ文化概論	2		2
ドイツ語圏の現代事情 I	2		2
ドイツ語圏の現代事情 II	2		2
ドイツ音楽史 I	3		2
ドイツ音楽史 II	3		2
ドイツ文化演習 I	3		2
ドイツ文化演習 II	3		2
ドイツ語圏の言語と文化ゼミ I	3		2
ドイツ語圏の言語と文化ゼミ II	3		2
ドイツ語圏の言語と文化ゼミ III	4		2
ドイツ語圏の言語と文化ゼミ IV	4		2
ドイツ語圏の文学と文化ゼミ I	3		2
ドイツ語圏の文学と文化ゼミ II	3		2
ドイツ語圏の文学と文化ゼミ III	4		2
ドイツ語圏の文学と文化ゼミ IV	4		2
ドイツ語圏の文化と社会ゼミ I	3		2
ドイツ語圏の文化と社会ゼミ II	3		2
ドイツ語圏の文化と社会ゼミ III	4		2
ドイツ語圏の文化と社会ゼミ IV	4		2

⑥ブラジルポルトガル語学科の専攻語科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位は次表のとおりとする。

専攻語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
ポルトガル語基礎演習Ⅰ	1	2	
総合ポルトガル語演習Ⅰ-1	1	1	
総合ポルトガル語演習Ⅰ-2	1	1	
ポルトガル語初級会話Ⅰ	1	1	
ポルトガル語講義Ⅰ	1	1	
ポルトガル語基礎演習Ⅱ	1	2	
総合ポルトガル語演習Ⅱ-1	1	1	
総合ポルトガル語演習Ⅱ-2	1	1	
ポルトガル語初級会話Ⅱ	1	1	
ポルトガル語作文Ⅰ	1	1	
ポルトガル語基礎演習Ⅲ-1	2	1	
ポルトガル語基礎演習Ⅲ-2	2	1	
総合ポルトガル語演習Ⅲ	2	1	
ポルトガル語中級会話Ⅰ	2	1	
ポルトガル語講義Ⅱ	2	1	
ポルトガル語作文Ⅱ	2	1	
ポルトガル語基礎演習Ⅳ-1	2	1	
ポルトガル語基礎演習Ⅳ-2	2	1	
総合ポルトガル語演習Ⅳ	2	1	
ポルトガル語中級会話Ⅱ	2	1	
ポルトガル語講義Ⅲ	2	1	
ポルトガル語作文Ⅲ	2	1	
総合ポルトガル語演習Ⅴ	3	1	
ポルトガル語上級会話Ⅰ	3	1	
ポルトガル語講義Ⅳ	3	1	
ポルトガル語応用演習Ⅰ	3	1	
総合ポルトガル語演習Ⅵ	3	1	
ポルトガル語上級会話Ⅱ	3	1	
ポルトガル語講義Ⅴ	3	1	
ポルトガル語応用演習Ⅱ	3	1	
ポルトガル語応用演習Ⅲ-1	4	1	
ポルトガル語応用演習Ⅲ-2	4	1	

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
ポルトガル語文法の基礎	1		1
ポルトガル語聴解の基礎	2		1
ポルトガル語読解の基礎	2		1
ポルトガル語口頭表現の基礎	2		1
ポルトガル語文章表現の基礎	2		1
ポルトガル語の音声Ⅰ	2		2
ポルトガル語の音声Ⅱ	2		2
ポルトガル語聴解Ⅰ	2		2
ポルトガル語聴解Ⅱ	2		2
ポルトガル語聴解Ⅲ	2		2
ポルトガル語口頭表現Ⅰ	2		2
ポルトガル語口頭表現Ⅱ	2		2
ポルトガル語口頭表現Ⅲ	2		2
ポルトガル語文章表現Ⅰ	2		2
ポルトガル語文章表現Ⅱ	2		2
ポルトガル語文章表現Ⅲ	2		2
ポルトガル語読解Ⅰ	2		2
ポルトガル語読解Ⅱ	2		2
ポルトガル語読解Ⅲ	2		2
トピック・スタディⅠ-1(京都研究)	2		2
トピック・スタディⅠ-2(京都研究)	2		2
トピック・スタディⅠ-3(京都研究)	2		2
トピック・スタディⅠ-4(京都研究)	2		2
ポルトガル語資格検定試験	3		2
編入学時認定科目(ポルトガル語)	2		1~8
国内・海外留学認定科目(ポルトガル語)	2		1~20

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
ポルトガル文化圏語学の基礎	1	2	
ポルトガル文化圏文学の基礎	1	2	
ポルトガル語圏文化の基礎	1	2	
ポルトガル語圏社会の基礎	1	2	
ポルトガル語学入門Ⅰ	2		2
ポルトガル語学入門Ⅱ	2		2
ポルトガル語圏文学入門Ⅰ	2		2
ポルトガル語圏文学入門Ⅱ	2		2
ポルトガルの歴史と地理	2		2
ブラジルの歴史と地理	2		2
現代ポルトガル事情	2		2
現代ポルトガルとEU事情	2		2
現代ブラジル事情	2		2
ポルトガル語学演習Ⅰ	3		2
ポルトガル語学演習Ⅱ	3		2
ポルトガル語圏文学演習Ⅰ	3		2
ポルトガル語圏文学演習Ⅱ	3		2
ポルトガル語圏地域文化演習Ⅰ	3		2
ポルトガル語圏地域文化演習Ⅱ	3		2
ポルトガル語学ゼミⅠ	3		2
ポルトガル語学ゼミⅡ	3		2
ポルトガル語学ゼミⅢ	4		2
ポルトガル語学ゼミⅣ	4		2
ポルトガル語圏文学ゼミⅠ	3		2
ポルトガル語圏文学ゼミⅡ	3		2
ポルトガル語圏文学ゼミⅢ	4		2
ポルトガル語圏文学ゼミⅣ	4		2
ポルトガル語圏歴史文化ゼミⅠ	3		2
ポルトガル語圏歴史文化ゼミⅡ	3		2
ポルトガル語圏歴史文化ゼミⅢ	4		2
ポルトガル語圏歴史文化ゼミⅣ	4		2
ポルトガル語圏社会ゼミⅠ	3		2
ポルトガル語圏社会ゼミⅡ	3		2
ポルトガル語圏社会ゼミⅢ	4		2
ポルトガル語圏社会ゼミⅣ	4		2

◆印は学科間開放科目を示す。

⑥中国語学科の専攻語科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位は次表のとおりとする。

専攻語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
中国語基礎演習 I	1	2	
視聴覚中国語 I	1	1	
中国語会話 I -A	1	1	
中国語会話 I -B	1	1	
中国語発音	1	1	
中国語基礎演習 II	1	2	
視聴覚中国語 II	1	1	
中国語会話 II -A	1	1	
中国語会話 II -B	1	1	
中国語作文 I	1	1	
◆視聴覚中国語 III	2	1	
◆中国語会話 III -A	2	1	
◆中国語会話 III -B	2	1	
◆中国語講読 I	2	1	
◆中国語作文 II	2	1	
◆視聴覚中国語 IV	2	1	
◆中国語会話 IV -A	2	1	
◆中国語会話 IV -B	2	1	
◆中国語講読 II	2	1	
◆中国語作文 III	2	1	
◆視聴覚中国語 V	3	1	
◆中国語会話 V	3	1	
◆中国語講読 III	3	1	
◆中国語作文 IV	3	1	
◆視聴覚中国語 VI	3	1	
◆中国語会話 VI	3	1	
◆中国語講読 IV	3	1	
◆中国語作文 V	3	1	
◆中国語会話 VII	4	1	
◆中国語作文 VI	4	1	
◆中国語会話 VIII	4	1	
◆中国語作文 VII	4	1	

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
資格中国語 I	1		1
資格中国語 II	1		1
資格中国語 III	2		2
資格中国語 IV	2		2
ビジネス中国語 I	2		2
ビジネス中国語 II	3		2
ビジネス中国語 III	3		2
ビジネス中国語 IV	4		2
時事メディア中国語 I	2		2
時事メディア中国語 II	3		2
時事メディア中国語 III	3		2
時事メディア中国語 IV	4		2
古典中国語 I	3		2
古典中国語 II	3		2
中国語上級会話 I	3		2
中国語上級会話 II	3		2
上級視聴覚中国語 I	4		2
上級視聴覚中国語 II	4		2
翻訳通訳中国語 I	2		2
翻訳通訳中国語 II	3		2
翻訳通訳中国語 III	3		2
翻訳通訳中国語 IV	4		2
フレゼン中国語	4		2
速読中国語	4		2
トピック・スタディ1(京都研究)	2		2
トピック・スタディ2(京都研究)	2		2
トピック・スタディ3(京都研究)	2		2
トピック・スタディ4(京都研究)	2		2
中国語資格検定試験	3		2
編入学時認定科目(中国語)	2		1~8
国内・海外留学認定科目(中国語)	2		1~20

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
中国の基礎知識 I	1		*2
中国の基礎知識 II	1		*2
中国語学概論	2		*2
中国文学概論	2		*2
中国政治概論	2		*2
中国経済概論	2		*2
中国語学研究 I	3		2
中国語学研究 II	3		2
中国方言演習 I	3		2
中国方言演習 II	3		2
中国文学研究 I	3		2
中国文学研究 II	3		2
中国文化研究 I	3		2
中国文化研究 II	3		2
中国政治研究 I	3		2
中国政治研究 II	3		2
中国語教育研究 I	3		2
中国語教育研究 II	3		2
中国経済研究 I	3		2
中国経済研究 II	3		2
中国語圏ゼミ I	3		2
中国語圏ゼミ II	3		2
中国語圏ゼミ III	4		2
中国語圏ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目(中国語圏)	2		*1~4
国内・海外留学認定科目(中国語圏)	2		*1~8

*印の12単位のうち8単位以上を修得。

◆印は学科間開放科目を示す。

⑦日本語学専攻の専門科目、特別演習科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位の次表のとおりとする。

専門科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
日本語学の基礎知識Ⅰ	1	2	
日本文化の基礎知識Ⅰ	1	2	
日本語教育の基礎知識Ⅰ	1	2	
日本語学の基礎知識Ⅱ	1	2	
日本語教育の基礎知識Ⅱ	1	2	
日本語の歴史Ⅰ	2	2	
言語学概論Ⅰ	2	2	
日本語の歴史Ⅱ	2	2	
言語学概論Ⅱ	2	2	
日本近代文学Ⅱ	2	2	

専門特別演習科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
◆漢文学Ⅰ	1		2
◆漢文学Ⅱ	1		2
◆日本の伝統文化Ⅰ	1		2
◆日本の伝統文化Ⅱ	1		2
書道Ⅰ	1		2
書道Ⅱ	2		2
◆京都モノ学Ⅰ	1		2
◆京都モノ学Ⅱ	1		2
日本語学特論Ⅰ	3		2
日本語学特論Ⅱ	3		2
日本文学特論Ⅰ	3		2
日本文学特論Ⅱ	3		2
日本文化特論Ⅰ	3		2
日本文化特論Ⅱ	3		2
実践日本語教育1	1		2
実践日本語教育2	2		2
実践日本語教育3	3		2
日本語教育と国語教育Ⅰ	3		2
日本語教育と国語教育Ⅱ	3		2
日本語教育実習Ⅰ	4		2
日本語教育実習Ⅱ	4		2
日本語資格検定試験	3		2
国内外日本語教育実習	2		1~8
編入学時認定科目	2		1~4

◆印は学科間開放科目を示す。

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
【日本語インテンシブ(留学生・帰国生専用)】			
日本語A-1(アカデミック)	1		1
日本語A-2(アカデミック)	1		1
日本語A-3(アカデミック)	1		1
日本語A-4(アカデミック)	1		1
日本語A-5(アカデミック)	2		1
日本語A-6(アカデミック)	2		1
日本語A-7(アカデミック)	2		1
日本語A-8(アカデミック)	2		1
日本語A-9(アカデミック)	3		1
日本語A-10(アカデミック)	3		1
日本語B-1(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-2(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-3(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-4(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-5(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-6(ブラッシュアップ)	1		1
日本語B-7(ブラッシュアップ)	2		1
日本語B-8(ブラッシュアップ)	2		1
日本語B-9(ブラッシュアップ)	2		1
日本語B-10(ブラッシュアップ)	2		1
日本語B-11(ブラッシュアップ)	2		1
日本語B-12(ブラッシュアップ)	2		1
日本語C-1(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-2(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-3(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-4(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-5(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-6(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-7(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-8(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-9(キヤッチアップ)	1		1
日本語C-10(キヤッチアップ)	1		1
編入学時認定科目(日本語)	2		1~12
国内・海外留学認定科目(日本語)	2		1~20
【日本語インテンシブ(日本語教員養成専攻・副専攻)】			
日本語音声学概論	1		2
日本語音声表現法	1		2
資格日本語教育	2		2
第二言語習得論	2		2
日本語表記法	2		2
日本語のスキル1	1		2
日本語のスキル2-1	2		2
日本語のスキル2-2	2		2
日本語のスキル3	2		2
日本語のスキル4	2		2
日本語のスキル5	3		2
日本語のスキル6	3		2
日本語のスキル7	3		2
日本語のスキル8	3		2
編入学時認定科目(日本語)	2		1~12
国内・海外留学認定科目(日本語)	2		1~20

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
世界と日本Ⅰ	1		
世界と日本Ⅱ	1		*2
社会言語学Ⅰ	2		*2
社会言語学Ⅱ	2		*2
日本文学史Ⅰ	2		*2
日本文学史Ⅱ	2		*2
日本古典文学Ⅰ	2		*2
日本古典文学Ⅱ	2		*2
和漢比較文学Ⅰ	2		*2
和漢比較文学Ⅱ	2		*2
漢字文化論Ⅰ	2		*2
漢字文化論Ⅱ	2		*2
日本の思想	2		*2
日本文化と宗教	2		*2
京都モノ研究Ⅰ	2		*2
京都モノ研究Ⅱ	2		*2
現代日本社会論Ⅰ	2		*2
現代日本社会論Ⅱ	2		*2
文化情報論	3		*2
文化情報研究Ⅰ	3		*2
文化情報研究Ⅱ	3		*2
現代日本語研究ゼミⅠ	3		2
現代日本語研究ゼミⅡ	3		2
現代日本語研究ゼミⅢ	4		2
現代日本語研究ゼミⅣ	4		2
日本文学研究ゼミⅠ	3		2
日本文学研究ゼミⅡ	3		2
日本文学研究ゼミⅢ	4		2
日本文学研究ゼミⅣ	4		2
日本文化研究ゼミⅠ	3		2
日本文化研究ゼミⅡ	3		2
日本文化研究ゼミⅢ	4		2
日本文化研究ゼミⅣ	4		2
日本語教育研究ゼミⅠ	3		2
日本語教育研究ゼミⅡ	3		2
日本語教育研究ゼミⅢ	4		2
日本語教育研究ゼミⅣ	4		2
対照研究ゼミⅠ	3		2
対照研究ゼミⅡ	3		2
対照研究ゼミⅢ	4		2
対照研究ゼミⅣ	4		2
国語教育研究ゼミⅠ	3		2
国語教育研究ゼミⅡ	3		2
国語教育研究ゼミⅢ	4		2
国語教育研究ゼミⅣ	4		2
編入学時認定科目(日本語圏)	2		*1~6
国内・海外留学認定科目(日本語圏)	2		*1~12

*印は42単位のうち12単位以上を修得。

⑧ イタリア語学専攻の専攻語科目、外国語強化科目及びグローバル・スタディ科目群(エリアA)の授業科目と単位は下表のとおりとする。

専攻語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
基礎イタリア語 I	1	2	
イタリア語会話 I -1	1	1	
イタリア語会話 I -2	1	1	
イタリア語総合演習 I	1	2	
基礎イタリア語 II	1	2	
イタリア語会話 II -1	1	1	
イタリア語会話 II -2	1	1	
イタリア語総合演習 II	1	2	
イタリア語会話 III -1	2	1	
イタリア語会話 III -2	2	1	
実践イタリア語 I -1	2	1	
実践イタリア語 I -2	2	1	
イタリア語総合演習 III	2	1	
イタリア地域比較文化 I	2	1	
イタリア語会話 IV -1	2	1	
イタリア語会話 IV -2	2	1	
実践イタリア語 II -1	2	1	
実践イタリア語 II -2	2	1	
イタリア語総合演習 IV	2	1	
イタリア地域比較文化 II	2	1	
イタリア語会話 V -1	3	1	
実践イタリア語 V -2	3	1	
イタリア語総合演習 V	3	1	
イタリア語会話 VI -1	3	1	
イタリア語会話 VI -2	3	1	
実践イタリア語 IV	3	1	
イタリア語総合演習 VI	3	1	
イタリア語総合演習 VII	4	1	
イタリア語総合演習 VIII	4	1	

外国語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
イタリア語基礎 I	1		1
イタリア語基礎 II	2		1
イタリア語基礎 III	2		1
資格イタリア語 I	2		2
資格イタリア語 II	2		2
資格イタリア語 III	3		2
Grammatica in italiano I	2		2
Grammatica in italiano II	2		2
イタリア語作文 I	3		2
イタリア語作文 II	3		2
イタリア語中級会話 I	3		2
イタリア語中級会話 II	3		2
イタリア語上級会話	3		2
通訳イタリア語 I	3		2
通訳イタリア語 II	3		2
イタリア語翻訳演習 I	3		2
イタリア語翻訳演習 II	3		2
トピック・スタディル-1(京都研究)	2		2
トピック・スタディル-2(京都研究)	2		2
トピック・スタディル-3(京都研究)	2		2
トピック・スタディル-4(京都研究)	2		2
イタリア語資格検定試験	3		2
編入学時認定科目(イタリア語)	2		1~8
国内・海外留学認定科目(イタリア語)	2		1~20

グローバル・スタディ科目群(エリアA)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
イタリアの歴史	1		*2
イタリアの現代社会	1		*2
イタリア語学の基礎知識	2		*2
イタリア文学の基礎知識	2		*2
イタリア文化の基礎知識	2		*2
イタリア社会の基礎知識	2		*2
イタリアの芸術 I	2		2
イタリアの芸術 II	2		2
イタリア語学特殊研究 I	3		2
イタリア語学特殊研究 II	3		2
イタリア文学特殊研究 I	3		2
イタリア文学特殊研究 II	3		2
イタリア文化特殊研究 I	3		2
イタリア文化特殊研究 II	3		2
イタリア生活文化論	3		2
イタリア社会特殊研究 I	3		2
イタリア社会特殊研究 II	3		2
イタリア言語文化ゼミ I	3		2
イタリア言語文化ゼミ II	3		2
イタリア言語文化ゼミ III	4		2
イタリア言語文化ゼミ IV	4		2
イタリア歴史文化ゼミ I	3		2
イタリア歴史文化ゼミ II	3		2
イタリア歴史文化ゼミ III	4		2
イタリア歴史文化ゼミ IV	4		2
イタリア社会文化ゼミ I	3		2
イタリア社会文化ゼミ II	3		2
イタリア社会文化ゼミ III	4		2
イタリア社会文化ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目(イタリア語圏)	2		*1~2
国内・海外留学認定科目(イタリア語圏)	2		*1~4

*印は12単位のうち8単位以上を修得。

◆印は学科間開放科目を示す。

①キャリア・スタディ科目群の授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
＜生活・環境＞			
生活と経済	2		2
生活と法律	2		2
生活と環境	2		2
宇宙の科学	2		2
生活と健康	2		2
生活と文化	2		2
生活と芸術	2		2
ライフスタイル論	2		2
生活と天然資源	2		2
流通のしくみ	2		2
衣食住関連経営論	2		2
現代と社会環境	2		2
都市と環境	2		2
グローバル環境論	2		2
スポーツ文化論	2		2
宗教と人間	2		2
ジェンダー論	2		2
生活空間の科学	2		2
民俗学から見た衣食住	2		2
考古学から復元する生活文化史	2		2
生活とエネルギー	2		2
Environmental Issues	2		2
Food and Human Culture and Environment	2		2
Eat to Live & Live to Eat - Food around the world	2		2
Research of Japanese Culture (PBL)	2		2
Sustainable Development	2		2
地域社会と環境 (PBL)	2		2
サイエンスコミュニケーション (PBL)	2		2
生活・環境研究ゼミ I	3		2
生活・環境研究ゼミ II	3		2
生活・環境研究ゼミ III	4		2
生活・環境研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目 (生活・環境)	2		1～8
国内・海外留学認定科目① (生活・環境)	2		1～16
国内・海外留学認定科目② (生活・環境)	2		1～16

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
＜教育＞			
同和教育と人権	1		2
多文化理解と人権	2		2
生涯学習概論	1		2
教育の課題 I	1		2
コミュニケーションの心理	2		2
コーチングの理論	2		2
創造性研究	2		2
日本語教育文法 I	2		2
日本語教授法	2		2
児童英語教育基礎論	2		2
教育社会学	2		2
教育の課題 II	2		2
青少年の行動と心理	2		2
臨床心理学	2		2
コーチングの実践	2		2
現代生活とスポーツ	2		2
教職研究	2		2
学校教育研究	2		2
日本語教育文法 II	2		2
日本語教育評価法	2		2
児童英語教育教材論	2		2
外国語習得論	2		2
英語教師論	2		2
小学校外国語活動指導	2		2
学校教育支援活動演習	2		2
Language Teaching & Learning	2		2
Nonverbal Communication in Language Teaching and Learning	2		2
創造性の実践 (PBL)	2		2
教育研究ゼミ I	3		2
教育研究ゼミ II	3		2
教育研究ゼミ III	4		2
教育研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目 (教育)	2		1～8
国内・海外留学認定科目① (教育)	2		1～16
国内・海外留学認定科目② (教育)	2		1～16

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
＜サービズ・ホスピタリティ＞			
サービズ戦略論	2		2
キャリア形成 I	2		2
キャリア形成 II	2		2
サービズ・マーケティング	2		2
イベント・プランニング	2		2
日本の地理概論	2		2
世界の地理概論	2		2
文化産業	2		2
ホスピタリティ論	2		2
サービズ・コミュニケーション	2		2
文化商品論	2		2
文化遺産と観光	2		2
消費者行動	2		2
京都文化論1	2		2
京都文化論2	2		2
観光ビジネス概論	2		2
観光ビジネス演習	2		2
旅行実務概論	2		2
ホテルビジネス概論	2		2
ホテルビジネス演習	2		2
航空ビジネス概論	2		2
航空ビジネス演習	2		2
ブライダルビジネス概論	2		2
ブライダルビジネス演習	2		2
Cross Cultural Studies I	2		2
Cross Cultural Studies II	2		2
ツアープランニング (PBL)	2		2
京都モノ・コト探究 I (PBL)	2		2
京都モノ・コト探究 II (PBL)	2		2
サービズ・ホスピタリティ研究ゼミ I	3		2
サービズ・ホスピタリティ研究ゼミ II	3		2
サービズ・ホスピタリティ研究ゼミ III	4		2
サービズ・ホスピタリティ研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目 (サービズ・ホスピタリティ)	2		1～8
国内・海外留学認定科目① (サービズ・ホスピタリティ)	2		1～16
国内・海外留学認定科目② (サービズ・ホスピタリティ)	2		1～16

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
<公共政策>			
日本国憲法	1		2
政治学 I	2		2
政治学 II	2		2
現代社会の見方	2		2
現代と社会	2		2
財政の仕組み I	2		2
地域文化研究 I	2		2
憲法 I	2		2
憲法 II	2		2
国際政治史 I	2		2
国際政治史 II	2		2
地域経済	2		2
財政の仕組み II	2		2
公共・行政意思決定論	2		2
地方自治体と国際交流	2		2
環境政策	2		2
スポーツ政策	2		2
言語政策	2		2
教育政策	2		2
NGO・NPO活動論	2		2
ボランティア活動論	2		2
コミュニティビジネス	2		2
アートマネジメント	2		2
スポーツと国際交流	2		2
地域文化研究 II	2		2
多文化間コミュニケーション	2		2
Human Relationship in Contemporary Society I (PBL)	2		2
Human Relationship in Contemporary Society II (PBL)	2		2
Multicultural Understanding and Communication	2		2
ミュージアムマネジメント(PBL)	2		2
スポーツとまちづくり(PBL)	2		2
多文化共生(PBL)	2		2
公共政策研究ゼミ I	2		2
公共政策研究ゼミ II	2		2
公共政策研究ゼミ III	2		2
公共政策研究ゼミ IV	2		2
編入学時認定科目(公共政策)	2		1~8
国内・海外留学認定科目①(公共政策)	2		1~16
国内・海外留学認定科目②(公共政策)	2		1~16

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
<ビジネス・マネジメント>			
リーダーシップ概論	2		2
キャリアベーシック	1		2
法学の基礎	2		2
金融の仕組み	2		2
貿易論	2		2
経済政策の基礎	2		2
経済学の基礎	2		2
経営管理論	2		2
組織論	2		2
国際ビジネス	2		2
簿記会計の仕組み I	2		2
企業文化論	2		2
グローバルリーダーシップ	2		2
法と社会	2		2
国際経済の仕組み	2		2
日本経済と経済政策	2		2
人事管理の歴史	2		2
生産管理論	2		2
中小企業論	2		2
マーケティング戦略論	2		2
知財マネジメント	2		2
アカウンティング	2		2
CSRマネジメント	2		2
多国籍企業と異文化間就業力	2		2
簿記会計の仕組み II	2		2
起業と起業文化	2		2
Introduction to International Business and Management	2		2
Global Major Corporations in Japan	2		2
International Business and Management Advanced	2		2
Japanese Major Corporations	2		2
日本のものづくり(PBL)	2		2
Management of International Conference (PBL)	2		2
International Marketing Competition (PBL)	2		2
ビジネス・マネジメント研究ゼミ I	3		2
ビジネス・マネジメント研究ゼミ II	3		2
ビジネス・マネジメント研究ゼミ III	4		2
ビジネス・マネジメント研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目(ビジネス・マネジメント)	2		1~8
国内・海外留学認定科目①(ビジネス・マネジメント)	2		1~16
国内・海外留学認定科目②(ビジネス・マネジメント)	2		1~16

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	自由
<情報・メディア>			
数学の基礎	2		2
統計による社会の理解	2		2
マスメディア基礎論	2		2
メディアリテラシー論	2		2
コンピュータの仕組み	2		2
情報社会論	2		2
マルチメディアプレゼンテーション演習	2		2
ビジネスコミュニケーション I	2		2
情報と論理	2		2
調査・統計の実践 I	2		2
調査・統計の実践 II	2		2
メディアの現在 I	2		2
メディアの現在 II	2		2
ネットジャーナリズム論	2		2
コンピュータと企業	2		2
ビジネスコミュニケーション II	2		2
ネットワーク社会論	2		2
情報倫理	2		2
科学技術の歴史	2		2
ポップカルチャー論	2		2
Webデザイン演習	2		2
CG演習	2		2
Webプログラミング演習	2		2
Interactive Webpublishing(PBL)	2		2
映像メディアの制作(PBL)	2		2
マルチメディアの制作(PBL)	2		2
情報・メディア研究ゼミ I	3		2
情報・メディア研究ゼミ II	3		2
情報・メディア研究ゼミ III	4		2
情報・メディア研究ゼミ IV	4		2
編入学時認定科目(情報・メディア)	2		1~8
国内・海外留学認定科目①(情報・メディア)	2		1~16
国内・海外留学認定科目②(情報・メディア)	2		1~16

⑫自由選択の授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
所属以外の基礎/専攻語科目・基礎/専門科目・基礎/専門特別演習科目(学科間開放)			
スペイン語学科提供科目			
フランス語学科提供科目			
ドイツ語学科提供科目			
ブラジルポルトガル語学科提供科目			
中国語学科提供科目			
イタリア語学科提供科目			
英米語学科提供科目(教職)			
日本語学科提供科目			
(専門特別演習科目・教職・日本語教員養成)			
教養スキル系科目			
情報技術の実践	1	2	
健康科学の実践と理論	1	2	
テクニカルスポーツⅠ	2	1	
テクニカルスポーツⅡ	2	1	
テクニカルスポーツⅢ	3	1	
テクニカルスポーツⅣ	3	1	
テクニカルスポーツⅤ	4	1	
テクニカルスポーツⅥ	4	1	
シーズンスポーツⅠ	2	1	
シーズンスポーツⅡ	2	1	
シーズンスポーツⅢ	2	1	
シーズンスポーツⅣ	2	1	
卒業論文作成入門	2	2	
数的理解	2	2	
日本学インスティテュート科目			
Business Administration in Japan	1	2	
Current Japan and Tradition	1	2	
Japan Pop Cultures	1	2	
Japan seen through animations	1	2	
Japanese Diplomacy and Security	1	2	
Japanese Economy	1	2	
Japanese Geography	1	2	
Japanese History	1	2	
Japanese History and Culture	1	2	
Research of Japanese Culture	1	2	
Japanese Major Corporations	1	2	
Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives	1	2	
Japanese Philosophy	1	2	
Destination Kyoto	1	2	
Media in Japan	1	2	
Modern Japanese History	1	2	
Religions in Japan	1	2	

⑬外国語学部総合科目・基礎ゼミナールの授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
言語と平和Ⅰ	1	2	
言語と平和Ⅱ	1	2	
基礎ゼミナール	1	2	

⑭卒業選択の授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
卒業論文	4	2	
卒業研究	4	2	

認定科目	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
学校教育支援			1~2
日本語教育支援			1~2
インターンシップ1			1~4
インターンシップ2			1~4
海外インターンシップ			1~8
海外フィールドワーク			2~4
災害ボランティア			1~2
海外語学研修			1~2
情報処理検定試験1		2	
情報処理検定試験2		2	
第2外国語検定試験		2	
京都研究プロジェクト1			1~2
京都研究プロジェクト2			1~2
京都研究プロジェクト3			1~2
京都研究プロジェクト4			1~2
海外セミナー			4
国内・海外留学認定科目			1~22

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
単位互換科目等			
科目等履修科目			1~12
大学コンソーシアム京都科目			1~12
地球の異文化理解1~4			2
特殊研究Ⅰ(企業グローバルマインド)	2		2
特殊研究Ⅱ-1(企業からの寄附講座)	2		2
特殊研究Ⅱ-2(企業からの寄附講座)	2		2
特殊研究Ⅲ(Japanese Law and Society)	1		2
特殊研究Ⅳ(Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives)	1		2
特殊研究Ⅴ(Japan seen through animations)	1		2
特殊研究Ⅵ(International Negotiation)	1		2
特殊研究Ⅶ(Public Diplomacy)	1		2
特殊研究Ⅷ(英語圏特殊研究)	1		2
自由選択に算入する科目区分(必要単位を超えた場合)			
外国語強化科目			
第3外国語科目			
専門特別演習科目			
グローバル・スタディ科目群			
キャリア・スタディ科目群			
次世代リーダー育成プログラム(1年次配当科目)			

別表1-2 国際貢献学部の授業科目の区分、編成と単位数

1. 授業科目の区分と単位数

卒業するためには4年以上在学し、次表の授業科目区分に従って単位を修得し、合計124単位以上を修得しなければならない。表中の自由選択については、自由選択として設定している授業科目の単位以外に、他の科目区分で必要単位数を超えて修得した単位も自由選択の単位として算入する。

授業科目区分		グローバル スタディーズ学科		グローバル観光学科	
専門科目	コア科目	30		26	
	コース科目	16		20	
	コース共通科目	26		16	
	英語演習科目	14		20	
	日本語演習科目 (外国人留学生用)	(—)		(24)	
外国語科目	英語強化科目	—		—	
	第2外国語科目	6	外国人留学生 (—)	6	外国人留学生 (—)
	第3外国語科目	—		—	
教養科目		16		16	
日本学インスティテュート		4		4	
自由選択		12	外国人留学生 (18)	16	18
計		124		124	

2. 授業科目の編成と単位数

①グローバルスタディーズ学科のコア科目、国際協カコース科目、グローバルビジネスコース科目、コース共通科目、英語演習科目及び日本語演習科目(外国人留学生用)の授業科目と単位数は次表のとおりとする。

コア科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Global Engagement	1	2	
Model United Nations	1	2	
Contemporary Global History	1	2	
Introductory Seminar I	1	2	
Global Engagement and Peace (S)	1	2	
Introductory Seminar II	1	2	
Introduction to Economics	1	4	
Digital Literacy	1	2	
Community Engagement Workshop I	1	2	
Community Engagement Workshop II	2	2	
Statistics	2	2	
Community Engagement S1	2		6
Community Engagement S2	2		6
Community Engagement S3	2・3		6
Community Engagement S4	2		6
Community Engagement S5	3		6
Community Engagement S6	2		6

国際協カコース科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
International Development Cooperation	2		4
Ethics for Peace Design	2		2
Conflict Resolution	2		2
Peace Design Seminar I	3		2
Peace Design Seminar II	3		2
Global Justice	3		2
Peace Design Seminar III	4		2
Peace Design Seminar IV	4		2
Graduation Thesis / Project A	4		2

グローバルビジネスコース科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Introduction to Global Business	2		4
Ethics for Global Business	2		2
Accounting and Finance	2		2
Global Business Seminar I	3		2
Global Business Seminar II	3		2
Corporate Finance	3		2
Global Business Seminar III	4		2
Global Business Seminar IV	4		2
Graduation Thesis / Project B	4		2

コース共通科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Issues in International Relations	1		4
Issues in Global Economy and Business	1		2
International Organizations / Intro. to the United Nations	1		2
Introduction to Presentation Preparation Design & Delivery I	1		2
Introduction to Presentation Preparation Design & Delivery II	1		2
Gender and Society	1		4
Microeconomics	2		4
Macroeconomics	2		4
Organization Management	2		2
Business Strategy	2		2
Security Studies	2		2
International Energy Affairs	2		2
Introduction to Marketing	2		4
Introduction to Law	2		2
Urban Policy	2		2
Storytelling and the Art of Presentation	2		2
Extensive Reading for World Knowledge	2		2
Career Development	2		2
Political Philosophy	2		2
Digital Communication	3		2
Global Negotiation	3		2
International Trade	3		2
Gender and Leadership	3		2
Corporate Social Responsibility	3		2
Econometrics	3		2
Economics of Development	3		2
Public Economics	3		2
International Labor	3		4
International Finance	3		2
Country Risk Analysis	3		2
Brand Communications and Storytelling in Business	3		2
Environmental Policy	3		2
Strategic Cost Management	4		2
Topics on Labor and Management	4		4
Japan-US Relations and East Asia	4		4

英語演習科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
English Communication for Global Studies I	1	4	
Academic Writing for Global Studies I	1	2	
English Communication for Global Studies II	1	4	
Academic Writing for Global Studies II	1	2	
Academic Writing for Global Studies III	2	2	

日本語演習科目(外国人留学生用)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
日本語Ⅰ-1	1		2
日本語Ⅰ-2	1		2
日本語Ⅰ-3	1		2
日本語Ⅰ-4	1		2
日本語Ⅱ-1	1		2
日本語Ⅱ-2	1		2
日本語Ⅱ-3	1		2
日本語Ⅲ-1	1		2
日本語Ⅲ-2	2		2
日本語Ⅲ-3	2		2
日本語Ⅲ-4	2		2
日本語Ⅳ-1	3		2
日本語Ⅳ-2	3		2

②グローバル観光学科のコア科目、観光政策コース科目、観光ビジネスコース科目、観光政策コース科目、英語演習科目及び日本語演習科目(外国人留学生用)の授業科目と単位は次表のとおりとする。

コア科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Global Engagement	1	2	
グローバル観光概論	1	2	
京都文化概論	1	2	
Community Engagement Workshop I	1	2	
経営学概論	1	2	
経済学概論	1	2	
Global Engagement and Peace (I)	1	2	
異文化間コミュニケーション論A	1	2	2
異文化間コミュニケーション論B	1	2	2
グローバル地域研究A	2	2	2
グローバル地域研究B	2	2	2
Community Engagement Workshop II	2	2	
Community Engagement T1	2	2	6
Community Engagement T2	2	2	6
Community Engagement T3	2	2	6
Community Engagement T4	2	2	6
Community Engagement T5	2	2	6
Community Engagement T6	2	2	6
Community Engagement T7	2・3	2	6
Community Engagement T8	2	2	6

英語演習科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Reading Skills for Research	1	1	
Writing Skills for Research	1	1	
TOEIC Preparation	1	1	
IELTS & TOEFL Preparation	1	1	
Presentation Skills for Research	1	1	
Communication Skills for Fieldwork Research	1	1	
Global Affairs Seminar I	1	1	
Hospitality English I	1	1	
English for Academic Research	2	1	
Communication Skills for Tourism	2	1	
Global Affairs Seminar II	2	1	
Hospitality English II	2	1	
English Workshop for Tourism I	3	2	
English Workshop for Tourism II	3	2	
Destination Studies I	4	2	
Destination Studies II	4	2	

コース共通科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
観光社会学	1	2	
観光地理学	1	2	
多言語観光論	1		2
文化遺産と観光	1		2
観光人類学	1	2	
観光調査・研究法	1		2
京都の歴史	1		2
観光メディア論	1		2
マイクロ経済学	2		4
マクロ経済学	2		4
企業財務と会計	2		2
観光倫理学	2		2
インバウンド観光ビジネス	2		2
ホテル事業論	2		2
Game Based Tourism	2		2
観光消費者行動論	2		2
京都モノ・コト学	2		2
サステナブルツーリズム	2		2
経営組織論	2		2
経営戦略論	2		2
スピリチュアルツーリズム	2		2
ユニバーサルツーリズム	2		2
エコ/グリーンツーリズム	2		2
フードツーリズム	2		2
エスニックツーリズム	2		2
スポーツツーリズム	2		2
コンテントツーリズム	3		2
東アジアツーリズム事情	3		2
開発経済学	3		2
公共経済学	3		2
環境計画論	3		2
観光関連法規	3		2
観光まちづくり実践 I (PBL)	3		2
観光まちづくり実践 II (PBL)	3		2
観光の思想	3		2
観光経営論	3		2
観光とリスクマネジメント	3		2

観光政策コース科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
New Media Marketing in Tourism	1		2
観光まちづくり論	1		2
観光行政・政策論	2		2
New Media Lab	2		2
メディア政策論	2		2
地域振興論	3		2
グローバル観光政策ゼミ I	3		2
グローバル観光政策ゼミ II	3		2
MICB論	3		2
グローバル観光政策ゼミ III	4		2
グローバル観光政策ゼミ IV	4		2
卒業論文または卒業研究 A	4		2

観光ビジネスコース科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Kyoto Introduction Methods	1		2
会計学入門	1		2
観光マーケティング	2		2
旅行ビジネス	2		2
エアラインビジネス	2		2
観光交通論	3		2
グローバル観光ビジネスゼミ I	3		2

日本語演習科目(外国人留学生用)

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
日本語 I-1	1		2
日本語 I-2	1		2
日本語 I-3	1		2
日本語 I-4	1		2
日本語 II-1	1		2
日本語 II-2	1		2
日本語 II-3	1		2
日本語 II-4	1		2
日本語 III-1	2		2
日本語 III-2	2		2
日本語 III-3	2		2
日本語 III-4	2		2
日本語 IV-1	3		2
日本語 IV-2	3		2

③外国語科目の授業科目と単位は次表のとおりとする。

英語強化科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
TOEIC Listening I	1		2
TOEIC Listening II	1		2
TOEIC Reading I	1		2
TOEIC Reading II	1		2
TOEIC Intensive I	1		2
TOEIC Intensive II	1		2
Intermediate TOEIC Workshop	1		2
Intermediate IELTS Workshop	1		2
Advanced TOEIC Workshop I	1		2
Advanced IELTS Workshop I	1		2
TOEIC Intensive III	2		2
TOEIC Intensive IV	2		2
Advanced TOEIC Workshop II	2		2
Advanced IELTS Workshop II	2		2

第2外国語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
基礎スペイン語	1		2
スペイン語 I-1	1		1
スペイン語 I-2	1		1
基礎フランス語	1		2
フランス語 I-1	1		1
フランス語 I-2	1		1
基礎ドイツ語	1		2
ドイツ語 I-1	1		1
ドイツ語 I-2	1		1
基礎ポルトガル語	1		2
ポルトガル語 I-1	1		1
ポルトガル語 I-2	1		1
基礎中国語	1		2
中国語 I-1	1		1
中国語 I-2	1		1
基礎イタリア語	1		2
イタリア語 I-1	1		1
イタリア語 I-2	1		1
基礎アラビア語	1		2
アラビア語 I-1	1		1
アラビア語 I-2	1		1
基礎オランダ語	1		2
オランダ語 I-1	1		1
オランダ語 I-2	1		1
基礎ロシア語	1		2
ロシア語 I-1	1		1
ロシア語 I-2	1		1

第3外国語科目

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
ロシア語 I-2	1		1
基礎ロシア語	1		2
ロシア語 I-1	1		1
ロシア語 I-2	1		1
スペイン語 II-1	2		1
スペイン語 II-2	2		1
スペイン語 III-1	2		1
スペイン語 III-2	2		1
フランス語 II-1	2		1
フランス語 II-2	2		1
フランス語 III-1	2		1
フランス語 III-2	2		1
ドイツ語 II-1	2		1
ドイツ語 II-2	2		1
ドイツ語 III-1	2		1
ドイツ語 III-2	2		1
ポルトガル語 II-1	2		1
ポルトガル語 II-2	2		1
ポルトガル語 III-1	2		1
ポルトガル語 III-2	2		1
中国語 II-1	2		1
中国語 II-2	2		1
中国語 III-1	2		1
中国語 III-2	2		1
イタリア語 II-1	2		1
イタリア語 II-2	2		1
イタリア語 III-1	2		1
イタリア語 III-2	2		1
アラビア語 II-1	2		1
アラビア語 II-2	2		1
アラビア語 III-1	2		1
アラビア語 III-2	2		1
オランダ語 II-1	2		1
オランダ語 II-2	2		1
オランダ語 III-1	2		1
オランダ語 III-2	2		1
ロシア語 II-1	2		1
ロシア語 II-2	2		1
ロシア語 III-1	2		1
ロシア語 III-2	2		1

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
マレー・インドネシア語 I	2		1
マレー・インドネシア語 II	2		1
トルコ語 I	2		1
トルコ語 II	2		1
インド語 I	2		1
インド語 II	2		1
タイ語 I	2		1
タイ語 II	2		1
ベトナム語 I	2		1
ベトナム語 II	2		1
スワヒリ語 I	2		1
スワヒリ語 II	2		1

④教養科目の授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
<地域・文化領域>			
哲学	1		2
世界史Aー政治・経済を中心に	1		2
アフリカ文化事情	2		2
ロシア東欧の社会	2		2
Food and Human Culture and Environment	2		2
Eat to Live & Live to Eat - Food around the world	2		2
Intercultural Communication in Practice I	2		2
Intercultural Communication in Practice II	2		2
現代ヨーロッパ地域事情 I	2		2
現代ヨーロッパ地域事情 II	2		2
現代北米地域事情 I	2		2
現代北米地域事情 II	2		2
現代ラテンアメリカ地域事情 I	2		2
現代ラテンアメリカ地域事情 II	2		2
現代アジア地域事情 I	2		2
現代アジア地域事情 II	2		2
現代中東・アフリカ地域事情 I	2		2
現代中東・アフリカ地域事情 II	2		2
現代中東・アフリカ地域事情 III	2		2
現代アジアの歴史と文化 I	2		2
現代アジアの歴史と文化 II	2		2
南アジアの歴史と文化 II	2		2
ポップカルチャー論	2		2
世界の諸宗教	2		2
イスラーム世界の思想と社会	2		2
ニュー・ジーム・マネジメント(PBL)	2		2
京都モノ・コト探究(PBL)	3		2
<社会科学領域>			
政治学	1		2
Public Diplomacy	1		2
日本国憲法	1		2
国際法	2		2
国際関係論入門	2		2
国際安全保障論	2		2
日本経済と経済政策	2		2
国際経済学の基礎	2		2
国際開発論	2		2
マスメディア基礎論	2		2
模擬国連会議(PBL)	2		2
国際政治史 I	2		2
国際政治史 II	2		2
外交戦略論 I	2		2
外交戦略論 II	2		2
国際NGO論	2		2
国際機構論	2		2

⑤日本学インスティテュートの授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
Business Administration in Japan	1		2
Current Japan and Tradition	1		2
Japan Pop Cultures	1		2
Japan seen through animations	1		2
Japanese Diplomacy and Security	1		2
Japanese Economy	1		2
Japanese Geography	1		2
Japanese History	1		2
Japanese History and Culture	1		2
Research of Japanese Culture	1		2
Japanese Major Corporations	1		2
Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives	1		2
Japanese Philosophy	1		2
Destination Kyoto	1		2
Media in Japan	1		2
Modern Japanese History	1		2
Religions in Japan	1		2

⑥自由選択の授業科目と単位は次表のとおりとする。

授業科目の名称	配当年次	単位数	
		必修	選択 自由
認定科目			
学校教育支援			1~2
日本語教育支援			1~2
インターンシップ1			1~4
インターンシップ2			1~4
海外インターンシップ			1~8
海外フィールドワーク			2~4
災害ボランティア			1~2
海外語学研修			1~2
情報処理検定試験1			2
情報処理検定試験2			2
第2外国語検定試験			2
京都研究プロジェクト1			1~2
京都研究プロジェクト2			1~2
京都研究プロジェクト3			1~2
京都研究プロジェクト4			1~2
海外セミナー			4
国内・海外留学認定科目			1~22
単位互換科目等			
特別聴講科目			1~12
大学コンソーシアム京都科目			1~12

別表2 教職課程

教育職員免許状を取得しようとする者は、学士学位を有するとともに、次の授業科目を修得しなければならない。

1) 教育の基礎的理解に関する科目等

教育職員免許法施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位				備考
			中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状		
			必修	選択	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1・2	2		2		
	教師論	1・2	2		2		
	学校教育心理学	1・2	2		2		
	特別な教育的ニーズの理解と支援	1・2・3	1		1		
	教育行政学	2・3	2		2		
	教育課程論	2・3	2		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論と指導	2・3	2		—		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2・3	2		2		
	教育の方法及び技術	2・3	2		2		
	生徒指導・進路指導論	2・3	2		2		
	教育相談	2・3	2		2		
教育実践に関する科目	教育実習 1	3・4	2		—		
	教育実習 2	4	2		2		
	教育実習指導	4	1		1		
	教職実践演習（中・高）	4	2		2		
必要単位数			28		24		

2) 教科及び教科の指導法に関する科目

次表の本学における授業科目を取得しようとする免許状の教科に応じて、それぞれ20単位以上取得しなければならない。

免許教科 外国語(英語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当 年次	単位		備考
			必修	選択	
英語学	Communicative Grammar I	2	2		
	Communicative Grammar II	2	2		
	英語学概論	2	2		
	How Languages are Learned in TEFL I	2		2	
	How Languages are Learned in TEFL II	2		2	
	Teaching Listening/Speaking and Pronunciation I	2		2	
	Teaching Listening/Speaking and Pronunciation II	2		2	
	Foreign Language Activities in Elementary School	2		2	
	Second Language Acquisition in TEFL	3		2	
	Teaching and Testing	3		2	
	TEFL Special Studies	3		2	
	英語音声学	2		2	
	英語意味論	2		2	
	英語語法文法 I	2		2	
	英語語法文法 II	3		2	
英語音韻論	3		2		
英語語用論	3		2		
英語文学	英米の文学と芸術入門 I	2	2		
	英米の文学と芸術入門 II	2	2		
	英語圏文学と芸術の研究 I	3		2	
	英語圏文学と芸術の研究 II	3		2	
英語 コミュニケーション	English Seminar I	1	1		
	English Seminar II	1	1		
	Pronunciation Clinic	1		1	
	Integrated Skills Workshop	2		2	
	Debate I	2		2	
	Debate II	2		2	
	Discussion Skills I	2		2	
	Discussion Skills II	2		2	
	Public Speaking I	2		2	
	Public Speaking II	2		2	
	English for Interpreters & Guides I	2		2	
	English for Interpreters & Guides II	2		2	
	English-Japanese Translation I	2		2	
	English-Japanese Translation II	2		2	
	Japanese-English Translation I	2		2	
	Japanese-English Translation II	2		2	
Simultaneous Interpretation I	2		2		
Simultaneous Interpretation II	2		2		
異文化理解	English Workshop I	1	2		
	English Workshop II	1	2		
	英米地域研究入門 I	2	2		
	英語圏地域研究 I	3	2		
	Intercultural Communication in Practice I	2		2	
	Intercultural Communication in Practice II	2		2	
	英米地域研究入門 II	2		2	
	英語圏地域研究 II	3		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む)	英語教育法1	2	2		英語教育法3及び英語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	英語教育法2	2	2		
	英語教育法3	3	2		
	英語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(スペイン語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
スペイン語学	チャレンジスペイン語 A-I	1	1		
	チャレンジスペイン語 A-II	1	1		
	リーディングスペイン語 I	2	1		
	リーディングスペイン語 II	2	1		
	リーディングスペイン語 III	3	1		
	リーディングスペイン語 IV	3	1		
	スペイン語学入門 I	2		2	
	スペイン語学入門 II	2		2	
	スペイン語上級文法 I	3		2	
	スペイン語上級文法 II	3		2	
スペイン文学	スペイン語圏文学作品研究 I	3	2		
	スペイン語圏文学作品研究 II	3	2		
	スペイン語圏芸術入門 I	2		2	
	スペイン語圏芸術入門 II	2		2	
スペイン語 コミュニケーション	実践スペイン語 I	1	1		
	実践スペイン語 II	1	1		
	実践スペイン語 III-1	2	1		
	実践スペイン語 IV-1	2	1		
	マルチスペイン語 III	2	1		
	マルチスペイン語 IV	2	1		
	実践スペイン語 V-1	3	1		
	実践スペイン語 VI-1	3	1		
	スペイン語通訳・翻訳演習 I	3		2	
	スペイン語通訳・翻訳演習 II	3		2	
異文化理解	スペイン語圏の基礎知識 I	1	2		
	スペイン語圏の基礎知識 II	1	2		
	スペインの社会と文化 I	2		2	
	スペインの社会と文化 II	2		2	
	ラテンアメリカ文明史 I	2		2	
	ラテンアメリカ文明史 II	2		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む)	スペイン語教育法1	2	2		スペイン語教育法3及びスペイン語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	スペイン語教育法2	2	2		
	スペイン語教育法3	3	2		
	スペイン語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(フランス語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
フランス語学	フランス語学の基礎知識	2	2		
	フランス語総合演習Ⅰ-2	2	1		
	フランス語総合演習Ⅱ-2	2	1		
	COMPREHENSION ECRITEⅠ	3	1		
	COMPREHENSION ECRITEⅡ	3	1		
	フランス語学概論Ⅰ	2		2	4科目中1科目を選択必修
	フランス語学概論Ⅱ	2		2	
	フランス語史Ⅰ	2		2	
	フランス語史Ⅱ	2		2	
	フランス語学演習Ⅰ	3		2	
フランス語学演習Ⅱ	3		2		
フランス文学	フランス文学の基礎知識	2	2		
	フランス文学概論Ⅰ	2		2	4科目中1科目を選択必修
	フランス文学概論Ⅱ	2		2	
	フランス文学史Ⅰ	2		2	
	フランス文学史Ⅱ	2		2	
	フランス語作品研究Ⅰ	2		2	
	フランス語作品研究Ⅱ	3		2	
	フランス文学演習Ⅰ	3		2	
フランス文学演習Ⅱ	3		2		
フランス語コミュニケーション	フランス語会話Ⅰ-1	1	1		
	フランス語会話Ⅱ-1	1	1		
	フランス語会話Ⅲ-1	2	1		
	フランス語会話Ⅳ-1	2	1		
	COMPREHENSION ORALEⅠ	3	1		
	COMPREHENSION ORALEⅡ	3	1		
異文化理解	フランスの基礎知識Ⅰ	1	2		
	フランスの基礎知識Ⅱ	1	2		
	フランス文化史Ⅰ	2		2	
	フランス文化史Ⅱ	2		2	
	フランス文化概論Ⅰ	2		2	
	フランス文化概論Ⅱ	2		2	
	フランス文化演習Ⅰ-1	3		2	
	フランス文化演習Ⅱ-1	3		2	
	時事フランス語Ⅰ	3		2	
	時事フランス語Ⅱ	3		2	
	フランス文化演習Ⅰ-2	3		2	
	フランス文化演習Ⅱ-2	3		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)	フランス語教育法1	2	2		フランス語教育法3及びフランス語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	フランス語教育法2	2	2		
	フランス語教育法3	3	2		
	フランス語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(ドイツ語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
ドイツ語学	ドイツ語学の基礎知識	2	2		
	ドイツ語学概論	2	2		
	ドイツ語作文・読解Ⅲ	2	1		
	ドイツ語作文・読解Ⅳ	2	1		
ドイツ文学	ドイツ文学の基礎知識	2	2		
	ドイツ文学概論	2		2	
ドイツ語 コミュニケーション	ドイツ語会話Ⅰ-1	1	1		
	ドイツ語会話Ⅱ-1	1	1		
	ドイツ語会話Ⅲ-1	2	1		
	ドイツ語会話Ⅳ-1	2	1		
	ドイツ語会話Ⅴ-1	3	1		
	ドイツ語会話Ⅵ-1	3	1		
	視聴覚ドイツ語Ⅲ	2	1		
	視聴覚ドイツ語Ⅳ	2	1		
	資格ドイツ語中級1	2		2	
資格ドイツ語中級2	2		2		
異文化理解	ドイツ語圏の文化	1	2		
	ドイツ語圏の社会	1	2		
	ドイツ文化概論	2		2	
	ドイツ語圏の現代事情Ⅰ	2		2	
	ドイツ語圏の現代事情Ⅱ	2		2	
	ドイツ文化演習Ⅰ	3		2	
	ドイツ文化演習Ⅱ	3		2	
	ビジネスドイツ語1	3		2	
	ビジネスドイツ語2	3		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)	ドイツ語教育法1	2	2		ドイツ語教育法3及びドイツ語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	ドイツ語教育法2	2	2		
	ドイツ語教育法3	3	2		
	ドイツ語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(ポルトガル語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
ポルトガル語学	ポルトガル語基礎演習Ⅰ	1	2		
	ポルトガル語基礎演習Ⅱ	1	2		
	ポルトガル文化圏語学の基礎	1	2		
	ポルトガル語学入門Ⅰ	2	2		
	ポルトガル語学入門Ⅱ	2	2		
	ポルトガル語の音声Ⅰ	2		2	
	ポルトガル語の音声Ⅱ	2		2	
	ポルトガル語学演習Ⅰ	3		2	
	ポルトガル語学演習Ⅱ	3		2	
ポルトガル文学	ポルトガル文化圏文学の基礎	1	2		
	ポルトガル語圏文学演習Ⅰ	3		2	
	ポルトガル語圏文学演習Ⅱ	3		2	
	ポルトガル語圏文学入門Ⅰ	2		2	
	ポルトガル語圏文学入門Ⅱ	2		2	
ポルトガル語コミュニケーション	ポルトガル語作文Ⅱ	2	1		
	ポルトガル語作文Ⅲ	2	1		
	ポルトガル語初級会話Ⅰ	1	1		
	ポルトガル語初級会話Ⅱ	1	1		
	ポルトガル語中級会話Ⅰ	2	1		
	ポルトガル語中級会話Ⅱ	2	1		
	ポルトガル語口頭表現Ⅰ	2		2	
	ポルトガル語口頭表現Ⅱ	2		2	
	ポルトガル語文章表現Ⅰ	2		2	
	ポルトガル語文章表現Ⅱ	2		2	
	ポルトガル語読解Ⅰ	2		2	
ポルトガル語読解Ⅱ	2		2		
異文化理解	ポルトガル語圏文化の基礎	1	2		
	ポルトガル語圏社会の基礎	1	2		
	現代ブラジル事情	2		2	
	現代ポルトガル事情	2		2	
	現代ポルトガルとEU事情	2		2	
	ポルトガルの歴史と地理	2		2	
	ブラジルの歴史と地理	2		2	
	ポルトガル語圏地域文化演習Ⅰ	3		2	
ポルトガル語圏地域文化演習Ⅱ	3		2		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)	ポルトガル語教育法1	2	2		ポルトガル語教育法3及びポルトガル語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	ポルトガル語教育法2	2	2		
	ポルトガル語教育法3	3	2		
	ポルトガル語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(中国語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
中国語学	中国語講読Ⅰ	2	1		
	中国語講読Ⅱ	2	1		
	中国語学概論	2	2		
	中国語学研究Ⅰ	3		2	
	中国語学研究Ⅱ	3		2	
中国文学	中国文学概論	2	2		
	古典中国語Ⅰ	3		2	
	古典中国語Ⅱ	3		2	
	中国文学研究Ⅰ	3		2	
	中国文学研究Ⅱ	3		2	
中国語 コミュニケーション	中国語基礎演習Ⅰ	1	2		
	中国語基礎演習Ⅱ	1	2		
	中国語作文Ⅰ	1	1		
	中国語作文Ⅱ	2	1		
	中国語会話Ⅰ－A	1	1		
	中国語会話Ⅱ－A	1	1		
	中国語会話Ⅲ－A	2	1		
	中国語会話Ⅳ－A	2	1		
	中国語会話Ⅴ	3	1		
中国語会話Ⅵ	3	1			
異文化理解	中国の基礎知識Ⅰ	1	2		
	中国の基礎知識Ⅱ	1	2		
	時事メディア中国語Ⅰ	2		2	
	時事メディア中国語Ⅱ	3		2	
	時事メディア中国語Ⅲ	3		2	
	時事メディア中国語Ⅳ	4		2	
	中国政治概論	2		2	
	中国経済概論	2		2	
	中国文化研究Ⅰ	3		2	
	中国文化研究Ⅱ	3		2	
	中国経済研究Ⅰ	3		2	
	中国経済研究Ⅱ	3		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)	中国語教育法1	2	2		中国語教育法3及び中国語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	中国語教育法2	2	2		
	中国語教育法3	3	2		
	中国語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 国語

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
国語学 (音声言語学及び文章表現に関するものを含む)	日本語学の基礎知識 I	1	2		
	日本語の歴史 I	2	2		
	日本語の歴史 II	2	2		
	日本語音声学概論	1	2		
	日本語音声表現法	1	2		
	日本語表記法	2	2		
	社会言語学 I	2		2	
	社会言語学 II	2		2	
	日本語のスキル1	1		2	
	日本語のスキル2-1	2		2	
	日本語のスキル3	2		2	
	日本語のスキル4	2		2	
	日本語のスキル5	3		2	
	日本語のスキル6	3		2	
	日本語のスキル7	3		2	
日本語のスキル8	3		2		
国文学 (国文学史を含む)	日本近代文学 I	2	2		4科目中2科目 選択必修
	日本近代文学 II	2	2		
	日本古典文学 I	2		2	
	日本古典文学 II	2		2	
	日本文学史 I	2		2	
	日本文学史 II	2		2	
	日本文学特論 I	3		2	
日本文学特論 II	3		2		
漢文学	漢文学 I	1	2		
	漢文学 II	1	2		
	和漢比較文学 I	2		2	
	和漢比較文学 II	2		2	
	漢字文化論 I	2		2	
	漢字文化論 II	2		2	
書道 (書写を中心とする)	書道 I	1	2		中一のみ必修
	書道 II	2	2		中一のみ必修
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む)	国語教育法1	2	2		国語教育法3及び国語教育法4は、中学校教諭一種免許状のみ必修
	国語教育法2	2	2		
	国語教育法3	3	2		
	国語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

免許教科 外国語(イタリア語)

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
イタリア語学	基礎イタリア語Ⅰ	1	2		
	基礎イタリア語Ⅱ	1	2		
	イタリア語学の基礎知識	2	2		
	イタリア語総合演習Ⅰ	1		2	
	イタリア語総合演習Ⅱ	1		2	
	イタリア語翻訳演習Ⅰ	3		2	
	イタリア語翻訳演習Ⅱ	3		2	
	イタリア語学特殊研究Ⅰ	3		2	
	イタリア語学特殊研究Ⅱ	3		2	
イタリア文学	イタリア文学の基礎知識	2	2		
	イタリア文学特殊研究Ⅰ	3		2	
	イタリア文学特殊研究Ⅱ	3		2	
イタリア語 コミュニケーション	イタリア語会話Ⅰ-1	1	1		
	イタリア語会話Ⅱ-1	1	1		
	イタリア語会話Ⅲ-1	2	1		
	イタリア語会話Ⅳ-1	2	1		
	イタリア語会話Ⅴ-1	3	1		
	イタリア語会話Ⅵ-1	3	1		
	通訳イタリア語Ⅰ	3		2	
	通訳イタリア語Ⅱ	3		2	
異文化理解	イタリアの歴史	1	2		
	イタリアの現代社会	1	2		
	イタリア文化の基礎知識	2	2		
	イタリア社会の基礎知識	2	2		
	イタリアの芸術Ⅰ	2		2	
	イタリアの芸術Ⅱ	2		2	
	イタリア文化特殊研究Ⅰ	3		2	
	イタリア文化特殊研究Ⅱ	3		2	
	イタリア生活文化論	3		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の 活用を含む)	イタリア語教育法1	2	2		イタリア語教育法3及びイタリア語教育法4は、 中学校教諭一種免許状のみ必修
	イタリア語教育法2	2	2		
	イタリア語教育法3	3	2		
	イタリア語教育法4	3	2		
必要単位数	中学校教諭一種免許状			28	
	高等学校教諭一種免許状			24	

3)大学が独自に設定する科目

次表の本学における授業科目のうち、中学校教諭一種免許状の取得については4単位以上、高等学校教諭一種免許状については、道徳の理論と指導を含む12単位以上を修得しなければならない。

施行規則に定める科目	科目名	配当年次	単位				備考
			中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状		
			必修	選択	必修	選択	
大学が独自に設定する科目	道徳の理論と指導	2・3		2	2		
	同和教育と人権	1	2		2		
	多文化理解と人権	2		2		2	
	教育の課題Ⅰ	1		2		2	
	教育の課題Ⅱ	2		2		2	
	コミュニケーションの心理	2		2		2	
	臨床心理学	2		2		2	
	青少年の行動と心理	2		2		2	
	読書と豊かな人間性	3・4		2		2	
	学校教育支援活動演習	2		2		2	
	必要単位数		4単位		12単位		

4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目	本学における授業科目	配当年次	単位		備考
			必修	選択	
日本国憲法	日本国憲法	1	2		
体 育	健康科学の実践と理論	1	2		
外国語 コミュニケーション	英語 I-1	1		1	1言語を 選択必修
	英語 I-2	1		1	
	英語 II-1	1		1	
	英語 II-2	1		1	
	基礎スペイン語	1		2	
	スペイン語 I-1	1		1	
	スペイン語 I-2	1		1	
	基礎フランス語	1		2	
	フランス語 I-1	1		1	
	フランス語 I-2	1		1	
	基礎ドイツ語	1		2	
	ドイツ語 I-1	1		1	
	ドイツ語 I-2	1		1	
	基礎ポルトガル語	1		2	
	ポルトガル語 I-1	1		1	
	ポルトガル語 I-2	1		1	
	基礎中国語	1		2	
	中国語 I-1	1		1	
	中国語 I-2	1		1	
	基礎イタリア語	1		2	
	イタリア語 I-1	1		1	
	イタリア語 I-2	1		1	
	基礎アラビア語	1		2	
	アラビア語 I-1	1		1	
	アラビア語 I-2	1		1	
	基礎オランダ語	1		2	
	オランダ語 I-1	1		1	
	オランダ語 I-2	1		1	
	基礎韓国語	1		2	
	韓国語 I-1	1		1	
韓国語 I-2	1		1		
基礎ロシア語	1		2		
ロシア語 I-1	1		1		
ロシア語 I-2	1		1		
情報機器の操作	情報技術の実践	1	2		

別表3 図書館司書課程及び学校図書館司書教諭課程の科目

1) 図書館司書課程科目

図書館司書の資格を取得しようとするものは、学士の学位を有するとともに、次表の本学における授業科目のうち、必修科目を22単位、選択科目は2科目以上選択し4単位以上を履修し、合計で26単位以上を修得しなければならない。

	図書館法施行規則に定める科目	単位	本学における授業科目	単位	配当年次	備考
甲群 (必修科目)	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	1	
	図書館概論	2	図書館概論	2	2・3・4	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	2・3・4	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	1	
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	2・3・4	
	情報サービス論	2	情報サービス論	2	2・3・4	
	児童サービス論	2	児童サービス論	2	3・4	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習Ⅰ	1	2・3・4	
			情報サービス演習Ⅱ	1	3・4	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	2・3・4	
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	3・4	
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	1	3・4	
情報資源組織演習Ⅱ			1	3・4		
乙群 (選択科目)	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	2	2・3・4	2科目以上 4単位を履修 すること。
	図書館サービス特論	1	図書館サービス特論	2	3・4	
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	1	3・4	
	図書館施設論	1	図書館施設論	2	2・3・4	
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	2	3・4	
	合計	24	必要単位数	26		

2) 学校図書館司書教諭課程の科目

学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、学士の学位を有し、かつ教育職員免許状を有するとともに、次表の本学における授業科目を10単位修得しなければならない。

	学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	単位	本学における授業科目	単位	配当年次
必修科目	学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	3・4
	学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	2・3・4
	学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	3・4
	読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	3・4
	情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	2・3・4
	合計	10	必要単位数	10	

別表4 博物館学芸員課程

【外国語学部】

博物館学芸員課程の資格を取得しようとするものは、学士の学位を有するとともに、次表の本学における授業科目のうち、必修科目を20単位、選択科目(美術・考古学・民族学・自然科学)の4分野の中から3科目6単位以上・(歴史・人類学)の2分野から1科目2単位以上を履修し合計で28単位以上を修得しなければならない。

	博物館法施行規則に定める科目	単位	本学における授業科目		単位	配当年次	備考	
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2	1		
	博物館概論	2	博物館概論		2	1		
	博物館経営論	2	博物館経営論		2	3・4		
	博物館資料論	2	博物館資料論		2	2・3・4		
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2	3・4		
	博物館展示論	2	博物館展示論		2	2・3・4		
	博物館教育論	2	博物館教育論		2	2・3・4		
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		2	3・4		
	博物館実習	3	博物館実習Ⅰ		2	2・3・4		
		博物館実習Ⅱ		1	3・4			
		博物館実習Ⅲ		1	3・4			
選択科目	美術		ヨーロッパの美術Ⅰ		2	2	4分野から3科目を選択	
			アートマネジメント		2	2		
			生活と芸術		2	2		
	考古学		異文化理解のための考古学		2	1		
			考古学から復元する生活文化史		2	2		
			ミュージアムマネジメント		2	2		
	民俗学		民俗学からみた衣食住		2	2		
	自然科学		科学技術の歴史		2	2		
			生活と環境		2	2		
			宇宙の科学		2	2		
	歴史		世界史B-文化に注目して		2	1		2分野から1科目を選択
			日本の歴史と文化Ⅰ		2	2		
			中東の歴史と文化Ⅰ		2	2		
			ユーラシアの歴史と文化Ⅰ		2	2		
			アジアの歴史と文化Ⅰ		2	2		
人類学		異文化理解のための人類学		2	1			
		東西文化の交流Ⅰ		2	2			
		アフリカ文化事情		2	2			
合計		19	必要単位数		28			

【国際貢献学部】

博物館学芸員課程の資格を取得しようとするものは、学士の学位を有するとともに、次表の本科における授業科目のうち、必修科目を20単位、選択科目から4科目8単位以上を履修し合計で28単位以上を修得しなければならない。

	博物館法施行規則に定める科目	単位	本科における授業科目	単位	配当年次	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	1	
	博物館概論	2	博物館概論	2	1	
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	3・4	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	2・3・4	
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3・4	
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	2・3・4	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	2・3・4	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	3・4	
	博物館実習	3	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 博物館実習Ⅲ	2 1 1	2・3・4 3・4 3・4	
選択科目	考古学		ミュージアムマネジメント(PBL)	2	2	4科目8単位以上を選択
			文化遺産と観光	2	1	
	民俗学		京都モノ・コト学	2	2	
			京都モノ・コト探究(PBL)	2	3	
			日本のものづくり(PBL)	2	2	
	美術・工芸		Current Japan and Tradition	2	1	
			Research of Japanese Culture	2	1	
			Destination Kyoto	2	1	
	人類学		京都文化概論	2	1	
			アフリカ文化事情	2	2	
	歴史		Japanese History	2	1	
			Japanese History and Culture	2	1	
			Modern Japanese History	2	1	
			京都の歴史	2	1	
			南アジアの歴史と文化Ⅰ	2	2	
			南アジアの歴史と文化Ⅱ	2	2	
	自然科学		生活と環境	2	1	
			グローバル環境論	2	1	
			Environmental Issues	2	2	
Sustainable Development			2	2		
合計	19	必要単位数	28			

別表5 日本語教員養成プログラム

1. コース1の科目

日本語教員養成(主専攻)に係る単位修得証明書を取得しようとする者は、学士の学位を有するとともに、次表のコース1(日本語学科の学生対象)の科目の中から、日本語教員に必要な知識・能力の定められた主専攻単位数を合計45単位以上修得しなければならない。

日本語教員に必要な知識・能力		本学における授業科目	単位	主専攻単位数		
				基準単位	選択単位	
①社会・文化・地域	世界と日本	日本文化の基礎知識Ⅰ	2	12		
		日本文化の基礎知識Ⅱ	2			
		日本近代文学Ⅰ	2			
		日本近代文学Ⅱ	2			
		世界と日本Ⅰ	2			
		世界の言語と文化	2			
	異文化接触	和漢比較文学Ⅰ	2			
		和漢比較文学Ⅱ	2			
		漢字文化論Ⅰ	2			
		漢字文化論Ⅱ	2			
		比較文化論	2			
		日本語教育の歴史と現状	2			
②言語と社会	言語と社会の関係	日本語教育の基礎知識Ⅰ	2	2		
		世界と日本Ⅱ	2			
	社会言語学Ⅰ	2				
	社会言語学Ⅱ	2				
言語使用と社会	意味論・語用論入門	2				
異文化コミュニケーションと社会	現代日本社会論Ⅰ	2				
③言語と心理	言語理解の過程	多文化間コミュニケーション	2	2		
		第二言語習得論	2			
	言語習得・発達	日本語教育評価法	2			
	異文化理解と心理	バイリンガルの言語形成	2			
④言語と教育	言語教育法・実習	言語と行動	2	3	10	
		日本語教育の基礎知識Ⅱ	2			
		実践日本語教育1	2			
		実践日本語教育2	2			
		実践日本語教育3	2			
		日本語教育実習Ⅰ	2			
		日本語教育実習Ⅱ	2			
	国内外日本語教壇実習	1~8				
	異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育研究ゼミⅠ	2			
		日本語教育研究ゼミⅡ	2			
		日本語教育研究ゼミⅢ	2			
		日本語教育研究ゼミⅣ	2			
		日本語教育と国語教育Ⅰ	2			
		日本語教育と国語教育Ⅱ	2			
多文化理解と人権		2				
言語教育と情報	現代日本社会論Ⅱ	2				
資格日本語教育	2					
⑤言語	言語の構造一般	資格日本語教育	2	16		
		言語学概論Ⅰ	2			
	日本語の構造	言語学概論Ⅱ	2			
		日本語学の基礎知識Ⅰ	2			
		日本語学の基礎知識Ⅱ	2			
		日本語音声学概論	2			
		日本語表記法	2			
		日本語教育文法Ⅰ	2			
		日本語教育文法Ⅱ	2			
		言語研究	日本語の歴史Ⅰ			2
	日本語の歴史Ⅱ		2			
	日本語学特論Ⅰ		2			
	日本語学特論Ⅱ		2			
	日英対照言語学		2			
	日中対照言語学		2			
	現代日本語研究ゼミⅠ		2			
	現代日本語研究ゼミⅡ		2			
	現代日本語研究ゼミⅢ		2			
	現代日本語研究ゼミⅣ		2			
	対照研究ゼミⅠ		2			
	対照研究ゼミⅡ		2			
	対照研究ゼミⅢ		2			
	対照研究ゼミⅣ		2			
	コミュニケーション能力		日本語音声表現法			2
			日本語のスキル1			2
		日本語のスキル2-1	2			
		日本語のスキル2-2	2			
		日本語のスキル3	2			
		日本語のスキル4	2			
		日本語のスキル5	2			
		日本語のスキル6	2			
		日本語のスキル7	2			
日本語のスキル8		2				
合 計				45		

2. コース2の科

日本語教員養成(副専攻)に係る単位修得証明書を取得しようとする者は、学士の学位を有するとともに、次表のコース2(日本語学科以外の8学科の学生対象)の科目の中から、日本語教員に必要な知識・能力の定められた副専攻単位数を合計30単位以上修得しなければならない。

日本語教員に必要な知識・能力		本学における授業科目	単位	副専攻単位数	
				基準単位	選択単位
①社会・文化・地域	世界と日本	世界の言語と文化	2	4	
		世界史Aー政治・経済を中心に	2		
		世界史Bー文化に注目して	2		
		世界史Cー地域交流に着目して	2		
		越境文化論Ⅰ	2		
	異文化接触	越境文化論Ⅱ	2		
		比較文化論	2		
		日欧の交流Ⅰ	2		
		日欧の交流Ⅱ	2		
		日欧の交流Ⅲ	2		
②言語と社会	言語と社会の関係	◎ 言語と平和Ⅰ	2	4	
		◎ 言語と平和Ⅱ	2		
	言語使用と社会	言語政策	2		
	異文化コミュニケーションと社会	多文化間コミュニケーション	2		
③言語と心理	言語理解の過程	◎ 日本語教授法	2	4	
	言語習得・発達	コミュニケーションの心理	2		
		第二言語習得論	2		
		外国語習得論	2		
	異文化理解と心理	◎ 日本語教育評価法	2		
		生成文法Ⅰ	2		
		バイリンガルの言語形成	2		
言語と行動		2			
④言語と教育	言語教育法・実習	実践日本語教育1	2	4	8
		実践日本語教育2	2		
		実践日本語教育3	2		
		国内外日本語教壇実習	1~8		
		◎ 基礎ゼミナール	2		
	異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語教育支援	1~2		
		日本語教育と国語教育Ⅰ	2		
		日本語教育と国語教育Ⅱ	2		
	言語教育と情報	日英表現比較(PBL)	2		
		◎ 多文化理解と人権	2		
⑤言語	言語の構造一般	情報社会論	2	6	
		資格日本語教育	2		
	日本語の構造	言語の仕組み	2		
		言語の成り立ち	2		
		◎ 日本語音声学概論	2		
		◎ 日本語表記法	2		
	言語研究	日本語教育文法Ⅰ	2		
		日本語教育文法Ⅱ	2		
		◎ 世界の中の日本語Ⅰ	2		
		世界の中の日本語Ⅱ	2		
		日英対照言語学	2		
		日中対照言語学	2		
		認知意味論Ⅰ	2		
		認知意味論Ⅱ	2		
	コミュニケーション能力	認知構文論Ⅰ	2		
		認知構文論Ⅱ	2		
		形式意味論	2		
		国際コミュニケーション演習Ⅰ	2		
		国際コミュニケーション演習Ⅱ	2		
		◎ 日本語音声表現法	2		
◎ 日本語のスキル1		2			
◎ 日本語のスキル2ー1		2			
◎ 日本語のスキル2ー2		2			
◎ 日本語のスキル3		2			
◎ 日本語のスキル4	2				
◎ 日本語のスキル5	2				
◎ 日本語のスキル6	2				
◎ 日本語のスキル7	2				
◎ 日本語のスキル8	2				
合 計				30	

◎=必修科目を示す

○=選択必修科目を示す(○印の科目から、最低1科目以上を選択。)

別表6 次世代リーダー育成プログラム

次世代リーダー育成プログラム(Future Leaders Program = FLP)を修了しようとする者は、次表の区分の中から必要単位数以上の単位を修得しなければならない。

		科目名	配当年次	単位数	必要単位数
必修科目	FLP 専用科目 ①	Future Leaders Studies I	1	1	8
		Future Leaders Studies II	1	1	
		Future Leaders Studies III	1	1	
		Future Leaders Studies IV	1	1	
		Future Leaders Studies V	2	1	
		Future Leaders Studies VI	2	1	
		Future Leaders Studies VII	2	1	
		Future Leaders Studies VIII	2	1	
	FLP 専用科目 ②	Global Issues I	2	2	10
		Global Issues II	2	2	
		Global Leadership	3	2	
		Japan Studies	3	2	
		Global Project Management	3	2	
	選択科目	FLP 選択科目 ①	Environmental Issues	2	2
Global Major Corporations in Japan			2	2	
Sustainable Development			2	2	
Japanese Major Corporations			2	2	
Nonverbal Communication in Language Teaching and Learning			2	2	
Multicultural Understanding and Communication			2	2	
Introduction to International Business and Management			2	2	
International Business and Management Advanced			2	2	
特殊研究Ⅰ(企業のグローバルマインド)			2	2	
特殊研究Ⅱ(企業からの寄付講座)			2	2	
FLP 選択科目 ②		特殊研究Ⅲ(Japanese Law and Society)	1	2	2
		特殊研究Ⅳ(Japanese Perspectives on Global Peace-Building Initiatives)	1	2	
		特殊研究Ⅴ(Japan seen through animations)	1	2	
		日英表現比較(PBL)	2	2	
		Human Relationship in Contemporary Society I (PBL)	2	2	
		Human Relationship in Contemporary Society II (PBL)	2	2	
		日本のものづくり(PBL)	2	2	
		Management of International Conference (PBL)	2	2	
		模擬国連会議(英語、PBL)	2	2	
		海外語学研修(International Business and Leadership Challenge Program)	2~4	2	
海外インターンシップ	2~4	2			
合 計					28

別表7 外国語学部及び国際貢献学部 学費、その他納付金及び代理徴収金

	種 類	金 額			備 考	
		春学期(1期)	秋学期(1期)	計		
学 費	入 学 金	230,000円		230,000円	入学手続時	
	授 業 料	397,500円	397,500円	795,000円		
	教 育 充 実 費	207,500円	207,500円	415,000円		
	学園振興協力費	10,000円		10,000円	卒業学年	
	計	845,000円	605,000円	1,450,000円		
そ の 他 納 付 金	諸 費 用	資格課程履修費	別に定める			
		実習費				
		選択種目履修費				
		海外セミナー参加費				
		語学研修費				
		教材用印刷費				
	履 修 料 等	科目等履修生選考料	10,000円			
		科目等履修生登録料	20,000円			
		科目等履修生履修料	16,500円(1科目) (週2回授業科目は1科目33,000円)			
		研究生選考料	別に定める			
		研究生登録料				
		研究生指導料				
	手 数 料	入 学 検 定 料	入学検定料	35,000円		
			大学入試センター試験を利用する場合の入学検定料	15,000円		
		追試験受験料	500円(1科目)			
再試験受験料		1,000円(1科目)				
証明書発行手数料		別に定める				
休学在籍料		60,000円(1期)				
代 理 徴 収 金	学生会入会金	1,000円		入学手続時		
	学生会費	4,000円				
	後援会入会金	5,000円		入学手続時		
	後援会費	10,000円				
	卒業アルバム費	10,000円		卒業学年		
	校友会入会金	10,000円		卒業学年		
	校友会終身会費	20,000円				

注意 1. 授業料及び教育充実費の額は、経済情勢等の変動により変更することがある。

注意 2. 入学金については、入学・編入学手続時のみ徴収する。また、再入学する者には再入学金を徴収する。

- (1) 本学外国語学部若しくは国際貢献学部から転部又は転科する者については、入学金を全額免除する。
- (2) 本学留学生別科出身者が外国語学部又は国際貢献学部に入學するときは、入学金の50パーセントを免除する。
- (3) 併設校(京都外国語短期大学、京都外国語専門学校、京都外大西高等学校)出身者が入学又は編入学するときは、入学金の50パーセントを免除する。
- (4) 他大学から3年次に編入学する者については、入学金の50パーセントを免除する。
- (5) 他大学から2年次に編入学する者については、入学金の25パーセントを免除する。

注意 3. 入学検定料の減額及び返還特別措置については、別に定める。

注意 4. 国際貢献学部の2年次以降の授業料は、865,000円とする。